京城日報
本紙定價 每號一部金五錢 前金壹ヶ月金五拾五錢 △三ヶ月同 △六ヶ月同 △壹ヶ年同六圓五十錢
郵券代用一割增
廣告料 五號活字一行[illegible]
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號長六千九番

## 京城日報

# 驕奢安逸は國の蠹毒（下）

## 大詔を拜讀して

更に朝鮮半島の現狀を顧みるに、風俗の頽廢、奢侈の消長、亦內地に比して優るとも劣ることなし。蓋し朝鮮は數百年來惡政の結果、貯金蓄穀は徒らに奸吏の狙ふ所となり、其人民は朝あるを知りて、夕あるを知らず、今日あるを知りて、明日あるを知らず、業務に荒怠し、遊惰の習ひ牢として拔くべからざるものありしが、輓近に至り皇化漸く洽く、人民も亦業を勉め產を成すの人生に必要なるを感じ、次第に蓄財の多きを致したるが、兩三年來穀價昂騰、農民の懷頓に餘裕を生じたるの故を以て、從來未だ曾て見ざるの消費力の增大を現じ、從つて奢侈淫逸の風、全土の農民を蠹ひ、殆ど禦ぐべからざるの勢ひを呈せり。試みに其の一例を擧ぐれば、京城市中に於ける金銀細工寶石類の賣行は年一年より增加しつゝあるが、其の購買者の八九割は實に朝鮮在來民なりといふ。又京城花柳界に籍を掲ぐる妓生の數は、實に五百人（鑑札の有無を合せ）の上に達しあるも、彼等は連日連夜、宴席に侍し、寸暇を得る能はずといへり。而して其の顧客なるもの、多くは、地方より入城するものにして、其中には一夜に數百金を抛つて意氣揚々たるもの少からずといふ。之を往日の鑑に朝鮮の生計を支へたるの時代に比すれば、霄壤啻ならざるのみならずといふべし。農民の生計がしかく豐になりたるは、珍重千萬のことなりと雖も、之を貯蓄して資本を增殖し、業務の進展に供するを勉めずして、恰も乞兒が道に金貨を拾ひたると同樣、無益有害の浪費を爲し、人生最も恐るべき驕奢淫逸に沈湎することは、不心得の至りにして、誠に以て遺憾とせざるべからず。由來鮮人は世界の惰民（或は之を仙民ともいへり）を以て聞ゆたるものなるが、其の惰民にして奢侈淫逸の味を占め、將來を顧念するの精神一空に歸し去らんには、最早如何とも爲すべからざる墮落の極端と云ふべきなり。朝鮮總督は大詔を拜すると共に、一の諭告を發し、和平後に於ける國民の責務の大なるを說き、且つ之を戒めていへらく『浮華淫靡の風潮に伴ない、人心の漸く驕奢に奔り、驕奢に流れんとするあり、加ふるに世界の思想紛雜混亂を極め、動もすれば國家の秩序を破壞し、人類の發展を阻害せんとするの傾向なきにあらず、朝鮮に於ける國民は、深く思ひを茲に致し、以て益々質實剛健の氣風を振作すると共に、人心の荒怠を戒防し、健全なる思想を懷持して、世界の公道に據り、平和の大義に遵ひ、戮心協力、鳳化翼贊の至誠を奉體して、以て戰後經營の重責を完うせんことを期すべし』と。總督の諭告は、現在朝鮮の人心動搖せるに鑑み、惡思潮の防遏を併せ說けりと雖も、浮華驕奢の人心を害するは、紙上に躍如たるものあり、世道を憂ふるの大なるを認め、吾人亦一辭を加ふるの要を見ざるなり。之を要するに、人世の生存競爭に對するの道は、唯一句にて盡く、曰く勝つて兜の緒をしめよ、是なり。小利得に得意と爲り、小虛榮を充たし、小慾を食らんとして、眼前咫尺のみを見て、吾が事足れりとするものは、即ち未來なき國民のみ、願はくは同胞の深く省慮する所あらんことを。

## 米國權利抛棄

### 獨艦分配に付

巴里聯合會議に於ける獨艦處分問題は大體に於て佛國以下の決定諸國に對し特に巡洋艦以下の艦艇數隻づゝを分與し、別に五大國には夫々戰捷示威の爲め戰艦、巡洋艦等を分配し殘餘の艦艇は之を解體又は處分し其の得たる所得を五大國に分配する事に決定（昨年十二月米國全權の歸國前）せるも其分配率如何に就ては其當時米國の決定を留保したり然るに米國は戰時中の努力の大小に依りて決す可しと主張して止まず其努力の大小を何れの標準に依りて算出するか之を見出すに困難なりし爲め他の委員の同意を得る事能はず會議は寧ろ戰時中の喪失艦艇數の多少に依る可しとの說の分配分割を決するに容易なるに如ずとの議に傾きつゝありしが之に依る時は米國は英國の合計二百五十五隻佛國の九十隻伊國の三十五隻及び日本の十三隻なるに反し其喪失數は僅に裝甲巡洋艦一隻、砲艦一隻、驅逐艦二隻其他四隻合計八隻たるに過ぎずして全體の割合より言へば僅々二分のパーセテーヂなるを以て比標準を決せば米國は[illegible]成しこの議を[illegible]致せるに依り本月[illegible]三日の伎高會議に於ては之を承認する事に決せるもの〻如し

## 神仙爐

### 猿丸太夫（八）

劍花坊

しかし其家集には猿丸太夫の歌として載てあり、萬葉には弓削王の歌として載てある者は、いふまでも無く純然萬葉ぶりである。

杜鵑鳴くらん里に行きてしかしか鳴く聲をきけば苦しも

萬葉集の八の卷、夏雜歌の中に弓削皇子御歌一首として載つてゐる。家集には『もの思ひ侍りけるころ時鳥のいたく鳴侍りければ』といふことば書がある。

おほ舟のわくる所のたゆたひに物思ひ佗ぬ人のこゆゑに

人ごとのしけきこのころ玉ならば手にまきつけてこひずそあらまし

我妹子に戀てあらずは秋萩のさきて散りぬる花ならましを

この三首は、いづれも萬葉集の二の卷に『相聞』の歌として出てゐる、弓削皇子、紀皇女を思ひて詠める歌四首とある、其三首だ、猿丸太夫家集には『親のせいする女に思ひて物いふとき云々』と詞書がある。

## 妻となりて

布施生譯

十日餘りも雪が降り續いたこと〻、寒さがめつきり增して城北公園の廣場には厚氷張詰め愈々氷滑りの季節になつた、當年の謝肉祭は固より夜も滑手の影絶えず今年の謝肉祭は水上で華々しく催さうと言ふ相談は忽ちのうちに一決して準備はずん〻〻捗つてゆく、愚圖々々してゐると何時不意に暖かい日が來てぢり〻〻氷が融け出さないとも限らない遊び盛りの若い人にはそれが何より心配であつた、城北別莊の滯在客は可成り大勢で中には狩獵に出るのを目的の一團もあつた、さう云ふ人々は氷滑りの方が餘り不意に盛つていつたので自然、弗々言ひながらも矢張り注意は今度の催しの方に惹かれてゆく。別莊と町の洋服屋との間には電話が盛んに交されて乘馬服の代りに氷滑服が一度にどつさり註文された、實際今度の景氣に逆上あがらぬ者はほんの二三人しか無いと謂つても善いと云ふ位であつたが別莊の持主で此多勢のお客樣に對する主人役も其少い二三人の一人で彼は丈の高い體格の立派な美男子だ。二十前では無いがしかし一見何處か人の心を惹付ける所があり假令このやうな境遇——大富豪で世間に勢力のある境遇——に生れないにした處で何時か一度は頭角を現はさずには居なかろうと思はれる人物であつた。彼は成金ではなくて何代前からの金持であつた名は[illegible]と云つたが生れは生粹の英吉利子で職業こそ鑛山師なれ血管の何處にも一點眼色の變つた血汐は混つて居なかつた、萬事に行渡つて何處に一つそつがなく一寸人に過ぎつたが時期誰でも其分りの早い眼のよくきくそして思の極めて強烈な處に惚込んで忽ち擒になつてしまふ、彼はそれ程一般に好かれてはゐたがされば中には又彼を怖れる人も全く無いと云ふのではなかつた。眞曉は自分で氷滑の仲間へ這入る心算はないが謝肉祭の選手は役柄として打棄てゝおく譯にもゆかず職人の監督に先程から[illegible]眼は氷の上に出てきてゐた、一體こんな催しには何よりイルミネイションが立派でなくては引立たない、それやこれやで眞曉は[illegible]毎に二時間はお客樣のお對手を脱れて出て技師と助手とをつれて仕事の見廻りをする事にきめてゐた。兎角する內に整になつた、朝の食卓で眞曉は自分の右の席に就いた令孃に向ひ『御覽なさい、今度こそ廢內は綺麗になります、一寸月世界か仙郷と言つたぞ、上合にしたいと思ひますから』令孃は笑顏で受けて『結構でございますわね、貴方がなさる事でございますもの、何だつてお考へ通り出來ない事は御座いませんわ』如何にも[illegible]に聞ゐるのは[illegible]眞曉を崇拜してゐるのであらう。令孃は實際容貌よしであつた、いゝ背はすらりとして瘦型のあごけない、あの脊柄はどう見ても貴族社會の者に相違なかつた、肌膚は目立つて細やかで髮の色は別段之と云ふものは無かつたが細く房々として身にも丈に餘りさうなのを氣取りもせず無雜作に卷いてあつた、それに白い綺麗な手、岩盤な廣い掌の持主の眞曉と握手する所を見ればまるで纖やかな雪片が岩の上に落ちたやうにさへ見立てられた、名は鏑階雅子と云ふので齡は十九故鏑階侯爵の令孃で當主の妹にして眞曉の許嫁であつた。


京都帝國大學文學部教授 文學博士西田幾多郎著 新刊 **意識の問題** 菊判二九九頁 ポプリン布裝 定價貳圓參拾錢 送料內地拾貳錢

西田幾多郎著 **自覺に於ける直觀と反省** 再版 菊判四三四頁 ポプリン布裝 定價貳圓八拾錢 送料拾八錢

西田幾多郎著 **思索と體驗** 再版 四六判三〇八頁 ポプリン布裝 定價壹圓五拾錢 送料內地拾貳錢

內村鑑三著 新刊 **信仰日記** 菊半截判三三〇頁 クロース裝 天金 定價壹圓參拾錢 送料內地八錢
敬虔なる信仰家內村鑑三氏の一年間の日記である、著者は凡人の平凡日記であるが[illegible]たる敍述の中に眞實侵すべからざる偉大なるものが潛んでゐる（東京日々新聞批評）

內村鑑三著 **基督再臨問題講演集** 五版 四六判二四八頁 假製 定價六拾錢 送料八錢

文學士和辻哲郎著 **近代歷史學** 四六判二七八頁 ポプリン布裝 定價壹圓七拾錢 送料內地八錢

和辻哲郎著 **偶像再興** 三版 四六判四四四頁 白布裝函入 定價壹圓八拾錢 送料拾貳錢

和辻哲郎著 **古寺巡禮** 三版 四六判三四四頁 別刷寫眞二五入 定價貳圓 送料拾貳錢

京都帝國大學文學部教授文學博士野上俊夫著 再版 **歐米教育の印象** 四六判二五〇頁 クロース裝 定價壹圓貳拾錢 送料內地八錢

京都帝國大學法學部教授法學博士河田嗣郎著 五版 **社會問題及社會運動** 菊判五一〇頁 クロース裝 定價貳圓八拾錢 送料內地拾八錢

東京帝國大學經濟學部助教授法學士森戶辰男譯 三版 **勞働者問題** 四六判三七五頁 ポプリン布裝 定價壹圓八拾錢 送料內地拾貳錢

宮內省式部職雅樂部講師理學士田邊尚雄著 新刊 **日本音樂講話** 四六判七八四頁 天金白布美裝 定價參圓五拾錢 送料內地拾八錢

田邊尚雄著 **西洋音樂講話** 六版 四六判四二八頁 白布美裝 定價壹圓八拾錢 送料內地拾貳錢

古屋芳雄著 新刊 **暗夜** 四六判三六〇頁 背布裝天金函入 定價壹圓八拾錢 送料內地拾貳錢

古屋芳雄著 **地を嗣ぐ者** 五版 四六判二八〇頁 背絹裝天金 定價壹圓貳拾錢 送料內地八錢

倉田百三著 **出家とその弟子** 二十四版 四六判二九三頁 背絹雅裝 定價壹圓貳拾錢 送料內地八錢

發行所 東京市神田區南神保町十六 岩波書店 振替東京貳六貳四〇番 電話本局二四〇・三六八番



浮田撫松著 **生の悩み 戀の悩み**
四六判クロース裝 四百廿頁 函入 正價金壹圓六拾錢 送料全國拾錢
發行所 東京市日本橋區下槇町五 星文館 振替口座東京一四四七番

最新刊
生きた人間の血と淚とこころを描く情話作家として情話の權威がある、文壇を潤歩する著者が艶麗花の如き筆致を以て生の悩みから罪に陷ちて行く者、戀の悩みから死に赴く人の運命を悉く事實に基いて描いた哀艶極まりなき情話を集めた本書は浮世のまゝならぬをかこつ天下無援の弱者を火の樣に熱した手で抱擁せんとするものである

△松崎天民著 **女[illegible]泣[illegible]**
夢二裝幀 △四六判洋裝美本 △三百四十餘頁 △正價金壹圓四拾錢 △送料全國八錢



時事新報社發行 二大子供雜誌
痛快な二月號出來
**少年** 銀世界號 千五百名の大懸賞新題發表!! 長篇附錄 家門の譽 入佳境
**少女** 大懸賞 新題發表 入賞千五百名 日曜の朝 口繪寫眞 附錄 別刷少女文藝 その他讀物澤山滿載
定價各廿五錢 郵稅一錢 全國書店

**日本自動車學校** [illegible]



新春の砌益々御清福之條奉賀候陳者今般北海道產各種木材を本年中滿鮮移入特約仕り候に就ては五千石形一艘五千五百石形一艘七千石形一艘都合三艘を傭船致し左記の木材移入可致候間不拘多少御注文被下度奉冀上候

**第一回著荷**

一、北海產楢角 三千五百石
一、檜角 七百石　一、樺角 八百石
一、桂角 千石　一、栓角 千石
計 七千石

釜山、木浦、群山、仁川の各港へ寄港可致候間御注文品は便宜の港にて受渡可致候猶其他各種角材小割板類多數移入仕り候間御注文被下度候

各種木材卸商 京城府漢江通十一番地 **眞野東洋木材洋行**
電話龍山長五四五番 八六〇番 振替口座京城二〇八〇番



# 元山倉庫株式會社 株式募集

**創立の趣旨** 元山港に於ける貨物集散の大勢は昨大正八年中其の對內地及び對外國貿易貨物に於てのみ見るも、既に三十萬噸に達せんとし、之を既往の數年に對比する時は、二倍加の趨勢を示せり、更に咸鏡線の延長、平元鐵道の開通、乃至日本海の利用等、交通施設の日と共に益々多面ならんとする秋、將に實現せんとする大元山港將來の繁盛は、蓋し疑はざる處にして、復以て本會社の事業盛し天賦の好機たり

**本會社の目的** ▲倉庫業 ▲火災保險代理業 ▲金融ノ仲介業 ▲運送業 ▲其他之ニ附帶スル業務

**本會社の特色**

**事業の基礎** 本會社は其の事業地たる元山及び其の圍繞地に於ける大部貨物取扱業者を發起人及び賛成人に網羅し、以て永遠に顧客の安定を計り事業の基礎を確立せり

**敷地の選定** 本會社の事業敷地は港灣の利用市街地變遷の將來を達觀し、最も優越なる地域を選定せり、是れ啻に本會社の利益を增進するのみならず、惹て利用者の作業能率を多大ならしむる所なり

**募集要項**
一 資本金 金壹百萬圓（總株數貳萬株）
一 壹株ノ金額 金五拾圓
一 募集株數 參千株
一 申込株數單位 拾株（[illegible]七千株ハ發起人及賛成人ニ於テ引受濟）
一 申込期間 一月十六日より同二十[illegible]
一 申込證據金 壹株に付 金貳圓五拾錢
一 第一回拂込金 壹株に付 金拾二圓五拾錢
一 募入決定方法 申込株超過の際株數割當ては發起人に於て適宜決定す（但證據金併込）
▲申込用紙、定款目論見書は取扱所又は創立事務所へ御申越次第送呈す

發起人（イロハ順） 創立委員長 小林儀三郎 [illegible]
賛成人（順序不同） [illegible]

株式申込取扱所 京城 朝鮮殖產銀行 元山 朝鮮殖產銀行元山支店 元山 十八銀行元山支店 咸興 朝鮮殖產銀行咸興支店 [illegible]

元山商業會議所內 元山倉庫株式會社創立事務所（電話一三〇番）



日之出印便利箋 [illegible]

マダ世間に全くない 英語まじりの **五分間演說集** [illegible]

**五分間强健法** [illegible] 發行所 [illegible] 竹生堂

# 米兵撤退通牒
## 日本の友誼的精神を認む 提携の目的を抛棄せず

米國軍の西伯利撤退決定に關する米國政府の對日通牒發表せられたるが同通牒に曰く『日本は米國に對し米國は現狀を維持せんとするや或は全部又は一部の撤兵を行はんとするや若しくは必要の場合には增兵を行はんとするやと問合せ來りたるが米國は是れに對し現下の事情の下に在つては撤兵を行ふを以て得策なりと思惟す增兵は實行不可能なり現狀維持は列國をして際限なき迄に何時迄も干渉せしむるの虞あり』と尚は軍隊と同時に外國鐵道員をも撤退せしむべしとの協調に言及して曰く『目下の不確實なる行政權と司法軍事官憲の救助に依りて鐵道の運轉を計り來れる過去の經驗を以てすれば最初の協議條件を遵奉するに若かざるを立證する鞏固なる理由を認めざるなり』と同通牒は更に曰く『米國政府は此の決定を爲すの止むなきに至れるを遺憾とするものなることを日本に於て諒解せられんことを希望し且露國民の援助に對する日米共同努力は今や重要の結果を齎し以て更に有効ならんとする時に方り自國兵の撤退を行ふの結果當分の間日本と提携を斷絶するの憾なきを得ざるなり米國政府は日本は常に友誼的精神を發揮したるを認め兩國間に確定せる根本的諒解及び將來兩國が西伯利に於て逢着すべき問題を處理するに及び友誼的努力を主張するを確信す米國政府は西伯利住民の政治的並に經濟的援助に對し全然同情を抛棄するものに非ず又最も率直且つ友誼的態度を以て西伯利の政治的復活の爲め將來計畫すべき實際的施設に關し日本と相提携せんとするの目的を抛棄せんとするものに非ざる也』と(華盛頓電報)

# 平和使節御差遣
## 閑院宮殿下に御内定

平和克復後國際的交誼を倍々親密ならしむる爲め我皇族中より平和使節を聯盟各國皇室並に政府に御差遣相成るに決し右使節は閑院宮殿下に御内定殿下には愈々五月の交を期し御發程遊ばさる、由(東京特電)

# 山東通告提示期
## 交渉は陸外交總長歸國の上

山東還附に關する日本の通告は既に小幡公使之を接受し居れるに依り支那の態度意嚮を確めたる上正式に提示せんとし目下小幡公使は之れが模樣を見つゝあるが我政府に於ても其提示時機及び方法等は小幡公使に一任し居れるを以て同公使は多分十九日頃正式に支那政府に提出するならんも交渉は目下歸國の途中にある外交總長陸徴祥氏の歸著を待て開始せらるゝ筈也(東京電報)

# 前獨帝引渡要求案
## 和蘭引渡拒絶豫期

聯合國最高會議は和蘭政府に對する前獨帝引渡し要求文書案を決定し十六日送附したるが和蘭は其の引渡を拒絶すべしと一般に豫期せらる(巴里電報)

# ク氏政界引退
## 今後は戰爭記録を執筆せん

プチ、パリジアン紙は曰くクレマンソー氏はラブエ ニーのトランシエに隱遁し靜養せんことを希望し最早政界に出づるの志なく今後は一意專心戰爭記録を執筆すべし氏は友人に語りて曰く余は新聞には執筆せず書籍を綴る考へなりと(巴里電報)

# 奉天より

[illegible]

# 對露新政策採用か
## 各種品輸入許可發表

最高會議は露國に對し新政策を採用するに至りたるもの、如く同國の封鎖を解除し各種品の輸入を許可する事となせる旨發表せり一般の觀察者は之を以て勞農政府が各種協同團體と直接取引を無視して顧みざる意嚮を示すものとなせり(巴里電報)

# 米赤十字撤退

米國赤十字社の西伯利撤退命令は未だ到達せざるも同赤十字に屬する女子の全部及び男子の大多數はイルクツク、ヴエルクニユヂンスクより浦鹽に來著しつゝあり小團體は食糧品分配の爲めヴエルクニユーヂンスクに殘留し居れり同地イルクツクおよび西方の米國赤十字病院は露國官憲に引き渡されたり尚同赤十字員の多數は浦鹽にて本國への歸還準備中にて數百萬弗の價格の各種救濟食糧品を有し食物は本國より到達し居れりといふ(國際通信日浦鹽電報)

# 加州にて桑樹發見

カリホルニヤ州サンタロサにて新に桑樹發見され今井幸助氏に栽培方を委託せるが將來日本生糸業者に取りて影響大なるべしと思惟さる(紐育電報)

# 倪嗣冲氏逝去

天津よりの報道に依れば豫て病氣中の安徽督軍倪嗣冲氏は十六日午前二時逝去せるが未だ後任者決定せざると且つ變亂を惹起するの虞れあるを以て喪を發せず中央政府の訓電を仰ぎつゝあり尚ほ北京にも未だ公電達せず(北京電報)

# 支那委員香港著

支那講和委員王正廷氏は十六日香港に到著し同地基督教青年會は氏の爲に歡迎會を催せり氏は十七日廣東に到著すべし(廣東電報)

# 派遣兵輸送開始

高田師團殘部五千名の救援出帆は十九日より開始し先發部隊は竹内聯隊長に引率され同日午後三時出發せるが十九日より二十日迄繼續輸送さる可し(東京特電)

# 外調會内容

既電の如く外交調査會は十九日午前十時より首相官邸に開會後藤牛田兩氏缺席其他委員全部出席米國に對する補充兵派遣通牒及び支那借款問題に就き審議し午後引續き開會せり(東京特電)

# 兩陛下御避寒

天皇皇后兩陛下には十九日午前九時四十分宮城御出門伏見宮殿下以下文武百官奉送裡に同四十分御發車十一時五分逗子御著御馬車にて直ちに葉山御用邸に成らせられたり(東京特電=延着)

# 鐵道省設置期

鐵道省設置は樞密院に御諮詢の上來る四月一日より開設さる可し(東京特電)

# 陸相演説新例
## 議會に於ける

議會開會第一日の兩院には從來首相外相藏相の施政方針演説ありたるが本年よりは更に陸相の最も詳細なる陸軍大臣閣下の施政方針演説ある筈なるが[illegible]底一日にて了る能はざる程度のものなれば三日又は四日に亘りて試むべし而して委員會に於ける各閣相の答辯は委員會の性質上一般に發表せざるを以て之を徹底せしむべく公開の兩院本會議に於て之を爲す事となれるが之れ立憲的新例を開くものなりと某高官は語れり(東京特電)

# 西川中將參内

西伯利に出征す可き高田第十三師團長西川中將は御召に依り上京十七日午前九時參内御在所に於て陛下に拜謁仰付けられ優渥なる御沙汰を賜はり且つ種々御下問に奉答退出したるが十八日午後歸任來る二十四日師團司令部と共に征途に就く可しと(東京特電)

# 清水博士御進講

法學博士清水澄氏は東宮に對し奉り憲法及び法律御進講の爲め十九日東宮御學問所御用係(勅任待遇)仰付けらる(東京特電)

# 工業學校長任命

十九日勅令にて橫濱廣島兩高等工業學校設置に就き左の通り校長の任命ありたり(東京特電)

任廣島高等工業學校長 熊本高等工業學校長 川口虎雄
任熊本高等工業學校長(二等) 熊本高等工業學校教授 三浦鍋太郎
任橫濱高等工業學校長(二等) 東京高等工業學校教授 鈴木達治

# 加藤大使歸期

イルクツクを引揚げたる加藤大使は哈爾賓に到着したるが近日中に同地を出發し本月末に歸國すべしとの公報外務省に達したり(東京電報)

# 朝鮮人會總會

十八日午後一時より長春取引所樓上にて長春在住朝鮮人會の總會を開催し出席者六十餘名村上領事橋本署長臨席の上諸般會務の報告役員の改選等を行ひ兩陛下の萬歳を三唱して午後三時閉會せり尚午後七時より内地人官民有力者約三十名を招待し新年宴會を開催せり(長春特電)

# 憲政普選審議

十九日正午より憲政會議員懇話會を本部に開き普選問題の態度に就き審議せるが圓滿裡に即時執行に決し同日議員總會にて正式に可決確定す可し(東京特電=延着)

# 齋藤總督引籠

齋藤總督は輕微なる感冒を患ひ十九日來引籠り療養中

# 定例局部長會議

廿日午前十時より總督府第一會議室に定例局部長會議を開き各局部長並に所屬官署長參集諸般政務に就き審議する處ありたり

# 辭職沙汰でも有るまい
## 水野總監呵々として語る

香堂總監上京以來既に十旬個々大儀に病を養ふや好事者流の蜚語頻りに飛んで空中樓閣を築くもの比々、總監則ち十三日入京伊丹博士の診察を求め爾後澁京機務を見る平日の如し、十五日白金猿町の邸に訪へば放談高笑既に疾の全く去れるに似たり。今其談に曰ふ(東京)

熱は未だ午前に三十六度八九分午後になると三十七度四五分ある。何れも平熱に比すると三四分勝つて居る。實は舊臘の二十日に歸任する積りであつたが十二日に引き込んだ風邪で伊丹博士から熱の模樣が面白くないから用心するに如くはない、絶對に動いてはならぬといふことであつたし、又大晦日に歸つて來て診察をうけた時にも是非朝鮮へ歸りたいと言つたら以ての外だと却つて轉地療養を勸められ、旅行すれば前途は保證が出來ぬ。このことで齋藤總督から身體をよくして貰はなければならぬといふ手紙もあつたしそんなことで大磯に行つて居たが何うも熱の模樣が依然として變らない◆そこで十三日に歸つて來て伊丹博士に、却て少し東京に居て仕事をし身體の調子を慣らすことにした方がよくは無いかと相談したところ、[illegible]朝早くとか夜晩くとか仕事して無理をするやうなことさへなければ暫らくそれを行つて見るも宜からう、併し、何分身體が疲勞して居るので熱の減ち方が遲いのだといふことであつた疲勞して居ることは私も意識して居る。實を言へば議會では大分身體を無理に使つた……まあ夏以來いろ／＼重なつて疲れが出たのだらうと思ふが……併し、歸らないと世間で……いろ／＼な風評を傳へて居るやうだ、その爲に誤解も起きる。誤解が起きても一身上の事に就ては何と言はれやうと毀譽褒貶敢て意に介しないけれども、そのために朝鮮統治の大局に影響するやうなことが有つては相濟まぬ次第だと思つて居る。ところが此の誤解といふものは妙なもので根も葉も無いところから起ることが多い。◆例へば私が赴任の際南大門驛で爆彈に見舞はれて居るが、あれなどは馬車が未だ來ないから暫く待つて居ただけでこういふ事だから待つて居たでも逃げも隱れもせん、死生の間を往來する位のことは初めから覺悟して行つて居る。こんな事は一々馬鹿々々しくて辯解するにも當らぬから辯解もせぬが世間の噂には妙なことがよくある。今回も私が歸任せぬのは齋藤總督との意見の衝突が有るとか、新舊吏僚の間が調和せずして行き詰まつて居るとか言ふことであるが何處にそんなことが有るものか。總督と私とは一心同體になつて新舊吏僚の間もこれほど甘く行つて居る例は他に無いと思ふ。若し總督との間に意見が合ぬとか其他政治上の理由が有れば私は明白にそれを言つて進退する。何も病氣に口實を求める必要は無い。◆そこは「無い」といふのが私の遣り方だ。◆今朝(十五日)原首相にも會つて、豫算問題の時此豫算が認められなければ自分等が職に在るのは無意味だとまで言つたことが有つたが夫んな事が誤り傳へられて風評が立つたのか知らんと言つたら原首相はそれにしては大變な事が世間に知れるわけが無いがと互に笑つたことであつた。無論、身體が惡くて恢復が手間取り職務を見られないといふならば相濟まぬわけであるから此儘にして居ることは出來ぬ。しかし、醫者も最早そろ／＼身體を使つても宜からうと言ふ程だから其心配は全く無い。齋藤總督の上京を待つて今度こそ歸任したいと思つてる。折角これから仕事が初まらうとする時、辭職沙汰でもあるまいぢやないか。

# 國民協會
## 趣旨並に綱領

去る十八日京城ホテルに於て創立式を擧行せる國民協會の趣旨書左の如し

今や世界の大勢は曠古の大戰を經て著しく進展し講和條約新たに成り國際聯盟の基礎確立して正に平和の時期に入れりと雖列國の競爭は是れより益激甚ならんとす而して一面には生活問題あり勞資問題あり普通選擧の問題あり加ふるに社會改造の聲到る處に喧傳せらる國家の前途を憂ひ個人の幸福を念ふ者一日として苟安を容れず此時に際し我朝鮮の形勢を顧みるに動もすれば事端を醸成せんとして全く宇内の形勢を關知せざるもの、如し眞に慨嘆に堪へざるなり吾人は深く之に感ずる所あり同憂の士と共に然して時局を匡救し同胞の爲に盡す所あらんとし茲に國民協會を組織し大方の賛同を得て實力ある團體を成し一定の主義の下に活動し綱領を定めて着々之が實行を期せんとす顧て思ふに日韓兩國の併立は過去の事實にして今や合體して一國と成れり日本は既に舊時の日本に在らず朝鮮の土地と人民とを包有する新日本たるなり換言せば日本民族のみの日本にあらずして日鮮民族共存の大義を完成せんとするに外ならず又吾人は内鮮の區別を作る現在の制度を以て滿足する者にあらず之が合一を期するは實に吾人の爲すべき事業の第一歩なり而して吾人は産業を獎勵し教育を普及し以て生活の安定と人智の開發とを圖り立憲國民たる自覺を喚起すると同時に自治の觀念を涵養し以て參政權の行使と地方制度の改革を促進し更に勞資の調和及び貧擁の均一に對して之が計策を立て思想の善導社會の改良等皆時勢に順應して之が遂行を期す斯くて朝鮮民族の文化を向上し幸福を增進して國力の發展に資せんとす敢て之を江湖に聞ふ

會名 國民協會
主義 新日本主義
綱領
一、吾人同志は宇内の大局と時代の趨勢に鑑み國民一致の精神を發揚して益々國家の基礎を鞏うすることを期す
二、吾人同志は國民の自覺に訴へ之を善導して國家の康寧と各人の幸福を圖ることを期す
三、吾人同志は立憲思想の發達と民權の伸張とを圖り參政權行使の時期を促進することを期す
四、吾人同志は地方自治の實施を促進する爲人民をして自治の精神を涵養せしむることを期す
五、吾人同志は教育の發達普及を圖り教育機關を完備せしむることを期す
六、吾人同志は産業の振興と富源の開發とを圖り民力を充實せしむることを期す
七、吾人同志は勞資の調和を圖り相互の利益を增進せしむることを期す
八、吾人同志は納税義務の勵行を圖り同時に國民の負擔を公平ならしむることを期す

會則
第一章 組織及會員
第一條 本會は國民協會と稱し本部を京城に置き各地に支部を置く
第二條 本會に總裁を置く
總裁は大會に於て之を選擧す
總裁は本會を統裁す
總裁事故あるときは會長之を代理す
第三條 本會に左の役員を置く
會長 一人
總務 四人
評議員 三十人以内
幹事 若干人
第四條 會長、總務、評議員は大會に於て之を選擧し各其の任期を一箇年とす
第五條 會長は會務を總理す
總務は會長を補佐し要務を處理す
第六條 評議員は重要事項を審議す
幹事は會長之を指名し其の任期を一箇年とす
幹事は庶務に從事す
第七條 本會に顧問及び相談役を置く
顧問及び相談役は總裁之れを囑託す
第八條 支部の設置及其の規約は本部の承認を受くべし
第九條 本會に加入せんとする者は會員二人以上の紹介を要す
第十條 本會を脱退せんとする者は本部及支部に通告すべし
第十一條 會員にして本會の體面を損する行爲ありと認むる者は之を除名す
第十二條 本會の經費は會員の負擔とす
第二章 大會及評議員會
第十三條 大會は各支部の代表員及び本部役員會同して之れを開く
支部の代表員は一支部五人以内とし京城は十五人以内とす
第十四條 大會は毎年一回之を開き會務の大綱を議定す
評議員會に於いて必要と認めたるときは臨時大會を開くことを得
第十五條 大會の議長は總裁之に當る但議決は出席員の過半數に依る
第十六條 評議員會は毎年四回之を開き本會の重要事項を議決す但緊急事項あるときは臨時會を開くことを得
第十七條 評議員會は評議員半數以上出席するにあらざれば之を開くことを得ず
評議員會の議長は毎年第一回の評議員會に於て之を選定す
第三章 調査及研究
第十八條 本會は綱領の趣旨に依り左の事項を調査研究す
(一)自治制度 (二)教育制度 (三)産業政策 (四)勞働問題 (五)小作制度 (六)租税及公課 (七)共救組織 (八)風俗及習慣 (九)民度及民力 (十)社會政策 (十一)公共事業 (十二)經濟狀況 (十三)其の他必要なる事項
附則
本則は大會の議決を經るにあらざれば之れを變更することを得ず
庶務會計其の他に關する細則は評議員會の議を經て總裁之を定む

國民協會役員名簿
▲總裁閔元植▲會長金明濬▲總務鄭丙朝、黄錫翹、據泰銓▲評議員韓基準、李謙濟、金錫泰、韓光鎬、金基昌、金禹植、李永錫、白大鎭、金永鎬、文昌奎、金泰榮、金亨復、金丸、李東雨、朴延來、張宗植、李圭容、李敦憲、梁建植、李秀稙、張星九、李勳榮▲幹事辛文善、李永錫、魏鍾翼、湯山治一

# 大正八年の朝鮮
## 發達せる水産業
### 漁業保護勵行=製品改良

水産業は併合以來鋭意調査及試驗を施行し斯業の指導獎勵に努むると共に漁業法規に基づき總督府及び各道に於て漁業の保護取締を勵行し其の秩序を維持し以て生業の安固を圖りたる結果近年著しく其の發展を見るに至り大正八年一月以降六月迄に免許申請を受理したるもの一萬二千三百三十五件内免許を與へたるもの一萬一千七百九十三件にして現在免許數は二萬一千三百二十件の多きに達せり而して其の價額の如きも前年に比し著しく增加を示せり水産に關する施設事業は調査及び試驗にして前年來繼續的に之を實施せり而して調査の主なるものは海洋觀測、生物調査並に干潟地調査にして海洋觀測は沿岸觀測及び各道十二箇所の朝鮮水産組合支部及び燈臺十箇所を選び海水の温度比重及び潮流の狀態等に就き定期の調査を囑託し海洋觀測は試驗船をして釜山對馬間所安島濟州島五島及び木浦大黒山島間の潮流水層底質及び浮遊生物の厚薄並に水産物の分布狀況を調査し生物調査は重要水産物の習性を學術的に研究し干潟地調査は南海岸に於ける干潟地中養殖に適する地域の調査を行ひ試驗事業は漁撈製造養殖の三部に分ち漁撈試驗は鰯流し網大目流し網試驗及び鱈沖取網委託試驗を行ひ製造試驗は春秋二季元山及び釜山に於て米國向き及び支那向き罐詰を製造し又地方廳に委託し支那向け乾明太魚を製造せしめ試食の爲之を米國及支那へ向け發送せり養殖試驗は高原及び鎭海に於ける總督府養殖場に於て鮭鱒の孵化及び放流並に牡蠣の養殖試驗を行ふの外全羅南道麗水、慶尚北道及び江原道の沿岸に於て發動機船千島丸及び潜水器を使用して淺海探檢を行ひ水棲物の分布棲息の狀況及底質等に就き調査し又別に鮑の成長及び製品の歩留に關し試驗を施行せり輸移出品檢査に就ては前年發布に係る水産製品檢査規則實施の結果製品の改良を促し漸次其聲價を擧ぐるに至れり(局者談)

# 米國人造絹絲業
## 激烈なる競爭起らん

パルプより人造絹絲を作ることは新しき工業なるが所謂戰時工業に非ずして米國に於ける新工業たり嘗て久しく歐洲就中獨逸、墺太利、匈牙利、白耳義、佛蘭西等より米國に對し生絲の輸入ありたるも未だ大規模の工業を觀るを得ざりき然るに歐洲戰爭と共に一は歐洲の製造能力の少量なると一は船腹不足の爲め今や歐洲よりの生絲輸入を持續するを得ず其結果戰爭以前米國に於ける二三の製造家が人造絹絲製造の目的の爲め『パルプ』を實驗に供しつゝありしが偶々歐洲よりの生絲輸入杜絶すると共に一般米國製造家をして多大の注意を喚起せしむるに到れり戰爭の結果米國の人造絹絲生産高は逐年增加し戰爭第一年に於ては生産高二十萬封度に過ぎざりしが一九一七年には六百五十萬封度に一九一八年には輸出原料の分量よりの推測してその倍額に達せる如くかくて米國が從來輸入を仰ぎ居りたる各國に對し反對に米國より盛んに輸出するに至れるのみならず支那日本伊太利等の生絲生産國に對し人造絹絲製品就中絹紡下を輸出するに至れり其他濠洲、加奈陀ニユージランド及び南阿弗利加にも人造絹絲を供給せり而して米國近時の人造絹絲工業の發達は近き將來に於て同國各市場に於て激烈なる同品の競爭を惹起すべしと觀測せりと

# 鮮鐵値上影響

朝鮮線に於ては去る十五日より旅客貨金値上を實施したるが京管局に就き其影響を聞くに改正後日尚淺く且京元咸鏡線に於ける降雪被害の爲列車の運轉を中止したる等の關係に依り今俄に其結果を斷ずる能はざるも改正後の乘車人員より見るも何等の影響なかるべしと

# 蠶種移入狀況

大正八年用飼育の移入蠶種は原種一千三百四十五枚普通蠶種十六萬三千七百一枚合計十六萬五千四十六枚にして之を前年に比するに二萬六千七十七枚(二割)の增加を示せり次に之を春夏秋蠶に見るに春蠶種十四萬卅七枚(新品種八萬一千五百三十四枚内地品種五萬八千五百三枚)夏秋蠶二萬五千枚とす更に是等蠶種の移入先を見るに一府二十九縣に亘り其最も多きは愛知の四萬二千九百七十七枚にして京都の二萬一千四十七枚長崎の一萬五千五十枚長野の一萬四千九百三十二枚岐阜の一萬三千二百八十七枚等之に順ひ其の最も少きは鹿手の四十枚なり

# 師團長訓示

第二十師團司令部にては二十日午前十一時より樓上會議室に於て勅語奉讀式を擧行したるが淨法寺師團長病氣引籠りの爲め參謀長西田友幸氏御勅語を奉讀し左記師團長の訓示を傳達せり猶各隊にても廿日より適宜莊重なる勅語奉讀式を行ひ所屬聯隊長より師團長の訓示を敷衍すべし

訓示

世界の大戰亂終局を告げ茲に平和克復に際し大詔の煥發を拜するに方り特に我等軍人に對し優渥なる勅語を賜ふ聖慮深遠誠に恐懼感激の至りに堪へず各部隊長は共れ克く部下と共に日夜服膺し協力同心益奉公の至誠を竭し以て重寄に答へ奉らむことを期すべし

右訓示す
大正九年一月十九日
第二十師團長 淨法寺五郎

# 李根湘男逝去

朝鮮殖産銀行監事李根湘氏は豫て流行性感冒の爲め病臥せる處二十日朝逝去せり

# 協成俱樂部 改稱
## 新日本主義

新日本主義を鼓吹する閔元植一派の協成俱樂部は新聞發行を許可せられたるを動機とし總會を開催し其決議に依り國民協會と改稱することゝし別項の如く更に趣旨及び綱領八項を發表したり

# 工業會社計畫
## 朝鮮森林

林鐵道會社の姉妹會社たるべき資本金一千萬圓の朝鮮工業株式會社は森林鐵道發起人により目下總督府に出願中にてその筋にては既に許可の内意を傳へし由なるも同社は森林鐵道と密接不離の關係あり森林鐵道の創立後にあらざれば同社の許可困難の事情あるにつき多分會社計畫の具體化は三月頃となるべく尚ほ同社は森林鐵道の敷設を急ぎて木材伐採特許區域の伐採に著手し製材を先とし、パルプ製造を第二段に置く計畫なれば直ちに利益を擧げ得べく又會社の株式は森林鐵道株主に對し二株につき一株を割當つる事に決定し居れり

# 工場出品注意
## 京鐵道

京鐵道にては近く福岡市に開催さるべき工業博覽會の管内出品人に對し左の通り注意する所ありたり

一、酒類其の他醸造品の審査用品に限り出品人より三月二十日限り總督府商品陳列館に送附すること
一、審査用品にして審査期日に間に合はざるときは一般出品物を之に充當することもあるべし
一、一般出品物は一月二十日迄に總督府商品陳列館に到達のこと
一、總て詰類は荷札を付し品名及出品者住所氏名を記入すべし

○大正緑會例會 大正年間の在京城法科大學出身者を以て組織せる大正緑會は二十二日午後六時より花月に於て例會を開く由

# 新設會社

▲宣寧商行株式會社 宣寧商行設立の件は閔杜和氏外十名より出願中の處一月十七日附を以て許可ありたり同行は本店を慶尚南道梁山郡に置き資本金二十萬圓を以て海陸物産貿易並に金融業を經營するものなりと▲叶商會株式會社 叶商會設立の件は糸山三次郎外七名より出願中の處一月十七日許可ありたり同商會は本店を京城府に置き資本金十萬圓を以て洋服附屬品並に帽子附屬品の製造及び販賣を營むものなりと▲南浦物産市場株式會社 鎭南浦物産市場設立の件は一月十七日附許可ありたり▲朝鮮工材會社 設立認可申請中なりし京城府名草源一郎氏外六名の發起に係る朝鮮工材株式會社は十九日附許可の指令ありたり

# 人事消息

▲奥田露蔵少將(龍山旅團長)出張中の處二十三日夜歸着の筈 ▲山本一等主計 鎭海灣重砲兵隊附より軍司令部附に轉じ廿日朝著任 ▲中村砲兵少佐(第十九師團兵器部長)二十一日朝歸任 ▲安藤京管局運輸課長 二十日夜大田より歸任 ▲神村正武氏(軍高級副官)二十四日朝發西鮮地方に出張 ▲種子田まつ子(京管局種子田局長夫人)流感にて療養中の處二十日朝永眠年二十五同葬儀は二十四日午後五時神式にて執行 ▲趙豢勝 二十四日朝發西鮮地方に出張 ▲吉澤師團副官 歸省中の處十九日夜夫人同伴歸城 ▲伊藤驍氏(二等主計)浦鹽派遣倉庫より野砲第二十五聯隊に轉じ着任の途二十日朝來城 ▲美濃部俊吉氏(朝鮮銀行總裁)二十日午後七時二十分發列車にて上京二月の株主總會に列席の上歸任すべし ▲丸山鶴吉氏(警務局事務官)二十一日午前九時五十分南大門驛發上京の筈 ▲徳田治策氏(平南道知事)二十日朝退城 ▲西田常三郎氏(元山每日社長)十九日夜平壤へ ▲佐藤彬氏(元山商議書記長)同上

# 寸鐵

世界大戰の産物チエックスロバック[illegible]

……城館に官民多數を招待し披露宴を開催すべしと因に前……滯在中なりし旭愛女其他の……の慰問奏演をなすと云ふ……萬歳、落語其他二三の餘興等

○東拓支店長更迭(奉天) 東拓支店長笹岡一賀氏は二十三日奉……

……額三萬七千三百十九叺にして昂……別せば特等八十四叺、一等五百……查は百三十七叺内三等百三十六……二十二叺ありたり……

……木材界 ……新義州の木材界は目下一年中の最も閑散期に入りたるを以て殊に……り價格は依然强調を保ち合ひ對……月頃の材價は昨大正八……の價格に比し約二割乃至二割五……分高は免れざるべしと觀測せら……安東縣の木材が銀の高値に左右せられ居る影響を蒙り益々……

# 朝鮮の石炭問題(五)

川崎繁太郎

**筑豊炭** 内地の石炭は從來内地の需用を優に充たして尚輸出を繼續し來りしも昨今後漸次其の額を減じ終に輸入本位に變ぜんとすとは多くの專門家の把持するところにして最近數年の統計は既に之を示して餘りあり。石渡信太郎氏に依れば本邦可採掘石炭量は年々百二十萬噸の增加を極度とすべきに拘らず需用は年々二百五十萬噸の產出增加を强要しつゝありと論ぜり。朝鮮移入内地炭の殆んど全部は九州炭にして其の約半は筑豐炭なりとす。然るに大正七年は空前の高値を現はしたるに關せず

**重要炭山** の減產多額なる如きは以て九州炭山の老齡を語るものに非ざるなきか。尚筑豐炭の產額を見るに明治四十二年には六百八十七萬噸にしてそれより漸次增加して五年目には九百四十六萬噸となり一箇年平均五十二萬噸を增加しつゝありしが其後は一箇年平均二十四萬噸の增加にして大正七年には一千三十四萬噸となれるを見るしかも之等の增加は全く小炭山が炭價の高値に伴なひて採炭を增加せしものなり。出炭の

**增加斯く** の如く徴々たるのみならず、主要炭山は却つて其の產額を減ずるの狀態なるに關せず、内地の需用は逐年急激なる增加を示し輸出は從ひて減少しつゝありて筑豐炭は大正七年に於て内地需用約三十萬噸を增し輸出約同量を減ぜるを見る、而して大正八年上半期に於て若松より六萬七千噸唐津より五千噸計七萬二千噸ありと雖大勢上朝鮮移入の將來は樂觀を許さざるものあり

**南滿洲北支那炭** 朝鮮の輸入せる南滿及北支那炭に於て其重要なるものは撫順本溪湖及開灤炭なりとす、而して將來朝鮮石炭問題に關聯すべきは

此の他南滿に於ては牛心臺、煙臺及錦州あり、山東には淄川博山及章邱あり、尚内蒙古に新邱あり、其の他蒙古、北滿、直隷、山西には廣大なる炭田尠からずと雖も運搬系統上朝鮮との關係甚だ淺かるべきを免れず。前記南滿、北支の諸炭田に於ける石炭には有煙炭より無煙炭に至る各種の炭種あり、不粘結性より強粘結性の骸炭製造に好適せる粘結性の石炭あり、又堅硬なる塊炭より粉炭に至る各種あり、而して其の

**埋藏量は** 井上禧之助博士に依るときは總額無慮二十餘億噸に達す、然るに其の採炭量は年額僅に八百萬噸にして之れを本邦内地の炭田に比し其の埋藏炭量に對し採炭量の甚だ微々たるを見るこれ朝鮮と同じく其の工業の發達治からざるが爲なりとす然れども近時工業の勃發著しく從つて石炭の需用劇增を告げ頗る其缺乏を感じつゝあるものなり。撫順炭坑は將來年額七百萬噸を產出すべき豫定なりと云ふと雖もそは約十年の後なるべく又八年春及び冬に於ける撫順炭値上の結果は南滿小炭山の開發を促すべしと雖も其の增產

**五十萬噸** を越ゆざるべく又たとひ撫順炭坑大露天掘の擴張は漸次出炭を增加すべけんも滿洲に於ける各種の工業發展特に鞍山店製鐵擴張に伴なふ需用の增加は出炭に比して更に大なるべく撫順炭は年々供給不足を告ぐるものと見ざるを得ず。左記地質炭の增加を見ば兎牟に過ぐるものあらん

**撫順炭坩賣高** 又朝鮮に約十餘萬噸の年輸入額を有する開灤炭は其の出炭全能力一日一萬二千噸一ヶ年約四百萬噸其供給力三百四十萬噸にして餘裕綽々たるものあるを見る尚同炭坑は大擴張の準備中にして明年は年額五百萬噸迄には年額二千萬噸に達せしめん計畫なりと云ふ然れども八年は虎疫の爲一日九千噸の出炭に減ぜりと云へば漸く需用を充すに過ぎざるべく又前記出炭增加も亦直に實現を見難きものあるを以て容易に多量の輸入を期すべからず

**臺灣炭** 臺灣炭の朝鮮に移入せらるゝに至りしは本年を以て嚆矢とし其量多からずと雖も臺灣に於ける炭界の狀勢を見るに將來侮るべからざるものあり臺灣に於ける消費量は年々增加し大正七年には元年の約二倍に及び臺灣產炭は之に伴なひて著しき增加を示し大正元年に於ける臺灣產炭は消費總量の八一、七%なりしに大正七年には九三%八に達せり之に反じ八重山、内地及び外國產等輸移入炭は劇減し大正元年に於て總消費量の一八、三%なりしが大正七年には僅に六、二%に減ぜるを見る。今

**消費炭** の用途を識するに島内の消費量と輸移出量とは略相半し臺灣炭は島内の需用を充して尚多量の過剩ありて之を輸移出しつゝあり而して島内消費は明治三十年以降初めの每五年は二倍乃至五倍餘に上り常に顯著なる增加を示せりと雖も最近の五年目は僅々二四%の增加に止まれるを見る。今後此の比例を持續するものとせば島内に於ける石炭の生產過剩は甚し大なるものあるべく從つて輸移出量の劇增を見ん。現に本年より朝鮮に移入を開始し漸次支那炭の勢力範圍を犯しつゝあり

## 保險復活準備 近く實施されん

滿鐵混合保管新設大豆保險契約復活は十日よりの筈なりしも保險團中ノース、ブリッチス社の同答來著の爲め更に五日間繰延べ十五日より開始の事となり該社大連代理店たる福昌公司は上海の該本社に交渉の結果其の制持を七分となす事にし保險團中に加盟する事となり三井物產大連支店保險部は保險團を代表して滿鐵に對し準備整ひたるを以て直に契約締結を爲すべき旨を通牒したる處滿鐵側に於いても奥地檢查驛中には保險契約條件に適應すべき施設整はざる處あり、從つて十五日には未だ開始に至らざりしが、滿鐵側にても極力準備に努め居るを以て三四日中には附保險復活を見るに至るべしと云ふ(大連)

## 安東縣と郵便 年賀郵便は三割增加

大正八年十二月十五日より同二十九日迄年賀郵便として安東縣郵便局に引受けた數量は十七萬九千四百九十二通で之を昨年の同期間引き受けた十三萬四千二百七十六通に比較すると四萬五千二百十六通の增加である又步合から云ふと約三割三分の增加となつて居た本年の引受けは初日の十五日が六百通で十六日は二千八百餘、十八日は四千六百六十、十九日六千五百二十日は約九千、二十二、二十三日は一萬七百を數へ二十五日は一萬八千、二十九日が最大多數で三萬五千通以上に達した、一般に年賀郵便の應用が理解されたと見えて非常に順調であつたと山本局長は語つて居た、又年末年始の郵便物は十二月三十日から一月の七日まで引受けたのが二十萬三百二通で前年に比し八萬二千三百三十七通約六割九分の增加同期間の配達數は三十八萬七千二百八十二通で昨年の同期間に比し六萬三千五百八十三通の增加步合から行くと一割三步の增加であつたので、郵便局では非常に多忙を極めたが、職員の手順が良好でマゴつかなかつたと謂はねばなるまい(安東縣)

## 東蒙地理談 (六)

奉天滿鐵公所 鎌田彌助(寄)

河流には概して橋梁の設けなきを以て渡船にあらずんば乃ち徒步到る處に大井川の舊態を演じつゝあるを見るのである。水稍深くさりとて渡船の設備なき渡口に於ては是非馬背の助けによらざるを得ないのであるが、兎角流れ急にして河底に深處の險あるを普通とするを以て盲目滅法に馬を河心に躍らすことは甚だ危險である。是非共土人の案內を附するを要す。特に往來頻繁なる地點にては支那人の智慧にて河の兩岸に馬匹を繫ぎ目標として居るものがある。

(三)

蒙古地帶の地名には又蒙古語を解せざるもの、了解に苦しむもの少からず、從つて現在の地圖面若くは著書中に曲解誤解されたるもの多く、同語に可成差違を有する者と雖も一見離解に苦しむものあり。又昔時村落を形成したるも、蒙匪の掠奪其他牧草の枯缺、土壤の瘦瘠等の原因により減族或は移轉を餘儀なくせられ、地圖面に村名を記せるものも、實際來て見れば雜草離々として僅舍牛壁を存せざるもの少からず、又或近年異常の發達を遂げたる處、猶他拉の如き大正一二年頃には沿々たる草原中に數個の小屋を見るに過ぎざりしが、數年後の今日は既に二萬七千人の大都市を現出して居る。又奥地にては往々支那人商店名を以て一地名となせるものあり、こは支那行商人の圓滑な點を指すこと多く、必ずしも一邑を意味する者にあらず一處に一二支那商店の存在も蒙古人よりは多大の歡迎を受くるを例とし其屋號は直ちに以て其地名を代表するに至るのである。蒙古人は彼等支那商人の巧言令色に魅せられ不知不識其術中に陷り乍發の涙を絞る例は隨所に之を見ることを得べく、滿漢人の蒙地侵入は恰も潮の如く押し寄する移住農民と共に商人は所有惡辣手段を弄し破竹の勢ひを以て事實蒙古種族を壓迫しつゝあり。今や蒙古人は挽歌を馬上に奏しつゝ夕陽を浴び孤影悽愴として北へ北へと退却しつゝあるのである。吾人は一面蒙古の地理事情に通ぜざるべからざると共に亦該族の蒙古種族に對して一片の同情を傾注するの要なきか、これ抑も人道の問題にして何ぞ敢て政治的外交的と謂はんや。

新年謾題次東嶺先生之韵 梅石陳人

又迎五十九回春。鬟泊天涯奈此身。一事無成容告老。弊衣唯有酒痕新。

田家早梅

郊梅幾点著水能。一二三枝雪裡斜。不用江南勞驛使。新春消息在田家。

## 懸賞川柳 劍花坊先生選

世界

○黃金町 夢路坊 小引に離宮が更ける銀世界

○永樂町 永樂山 寄い閨婦人雜誌に讀み耽る

○平壤 泣坊 世界徒步旅行前後は船と乘

○本町 優城壺 電報で世界を鞠の樣に卷き

○京城 能孤坊 旧都へ五年世界の衍か向き

太陽の當らぬ方は黑く塗り

## 錦滿片々

### 全南地主會

全南地主會は每年五月の候に開催されたるが地主會の陣容編成前に會合する必要あれば今年よりは來る三月中旬頃に繰上げ開催さるべし(木浦)

### 流感豫防注意

光州郡にては客冬來の流感に對し之れが豫防のため數次各方面へ注意を促す所ありしが近時當地方に蔓延の兆あるに鑑み更に管下面諸學校等に豫防方を徹底せしむべく諭達したり因に光州面學校にては流感豫防上の要項を印刷し各戶並に全兒童に配附すべしと(光州)

### 全州商工會成立

全州商工會組合組織に關しては去る十五日二葉に於て發起人會を開きたるが之が組織に付て實行委員を選ぐることゝなり後藤氏の推薦により滿場一致を以て山崎晴五郎氏を委員長に擧げ委員は山崎氏の推薦に一任することゝし一瀉千里萬般の準備計畫を立て近き將來に於て當然必要なる商業會議所設立の前提として商工會を組織することになりたるが本月末頃右委員會を開く筈なり(全州)

### 群山の金融界

舊臘來群山各銀行鮮銀支店十八支店商銀支店殖銀支店は非常なる引締を行ひ之が爲め一般に新春に於ての金融界は等しく逼迫勝ちにあり且つ會社等に對する銀行側の警戒も頗る嚴密にして以前の比にあらず各商人共に引上に於て少からざる不自由を感じ居れるが其原因は今回朝鮮行の協定的引締の斷行は膨脹せる通貨の縮少を計り物價の調節を期する政府當局の方針に副ふ目的の各本店よりの命令に出でたるものの如く引締は當分の間は緩和されざる狀態なり(群山)

### 咸興組合豫算

咸興學校組合にては目下本年度の豫算編成中なるが大體に於て前年度と大差なく備品新調、校舍增築、同校職員、學級增加に伴なふ教員の俸給並に一般物價の騰貴に伴ないて多少の豫算膨脹は免れざるべく豫算編成難に陷れる模樣なり(咸興)

### 運輸部移轉請願

過日の實業會席上に於いて議決されたる當地憲兵隊運輸部移轉に關する請願方は今回幹事長小田村廣助氏外廿名を推選し愈々實行に掛る事となりたり(元山)

### 奉天商議再選

昨年十二月施行せる奉天商業會議所議員選擧に於ける不正行爲發覺し選擧の神聖と公正を維持する見地より該選擧を無効とし再選擧を命ずる旨十四日赤塚總領事より通牒ありたり(奉天)

### 商議募集員會

大連商業會議所にては十四日午前二時より同所建築寄附金募集委員會を開き寄附金募集に關し種々協議の筈なるが今回一切の具體的方法を定め急速勸誘に着手し一月中には全部の寄附金額を決定して豫算と照合し建築の下準備を開始する由(大連)


## 演藝案內

日本活動寫眞會社代理店 櫻井町 電話八七三 大正館
▲十五日より新春第三次特別大興行
◎實寫劇『妙子海岸の夜』
◎滑稽劇『ゼザナラ理髮師』
伊太利ゲーザル會社大傑作 ◎悲劇『アッスンタ・スピーナ』長尺三千呎
美しい水の都ナポリの夜景を背景に映寫しい名優ペルチーニ孃セレーナ氏共演深刻凄愴なる戀愛悲劇(五千呎)
江戸の花『加賀鳶』八卷

黃金町 電二六三七 黃金館
京阪合併歌舞伎中村吉十郎一行
前狂言 一條大藏卿
切狂言 義經腰越狀
毎日正午後五時開演

本町一丁目 電話九七番 喜樂館
當る十五日より新映畫提供
新派悲劇『モレリ妹姉』
旧劇『火の玉典膳』

## 引續き滿員
當館 封切大好評
江戸の花 加賀鳶
悲劇 アッスンタ・スピーナ
大正館

本町一丁目 電話一〇五〇 壽館
當る一月廿一日午後五時開場
女歌舞伎中村鯉登一行
▲一番目 新薄雪物語
▲中幕 御所櫻三段目
▲切狂言

京城 浪花館

## りん病
さむ人にも… 妙藥を人助けにもでお知らせ 牛込町 武藤亀吉

## いがん
食道がん心配無用良藥有 兵庫縣明石市相生町

## 避寒御案內
東萊溫泉場 蓬萊館主
溫泉湧出多量 溫度益々高騰
舊多末當地溫泉開湯等の新聞記事有之候得共夫は一小部浴場に一時故障を生せし動機に於て誤まられたる記事と相成候に就ては諸方御得意様より非常に御見舞を忝ふし恐縮の至りに奉存候… 避寒客の御賁臨を願ふ

## 平壤甘栗
特別燒御小賣 鎌田商店 京城南山町一ノ一 電話三一六九番
支那 新栗 其他種々

## 內務省令甲種 自動車運轉手養成
一月十五日開始

## ◎教授ノ方法
◎入學手續
東京自動車學校 京城分校


謝近火御見舞 平壤大和町 千國德重
謝近火御見舞 平壤大和町 桑田信助
謝近火御見舞 平壤大和町 丸天時計店
謝近火御見舞 平壤大和町 木村パン屋
謝近火御見舞 土木建築請負業 淺野宗一 平壤大和町
謝近火御見舞 平壤大和町 平壤物產販賣所 同 脇坂文鮮堂支店

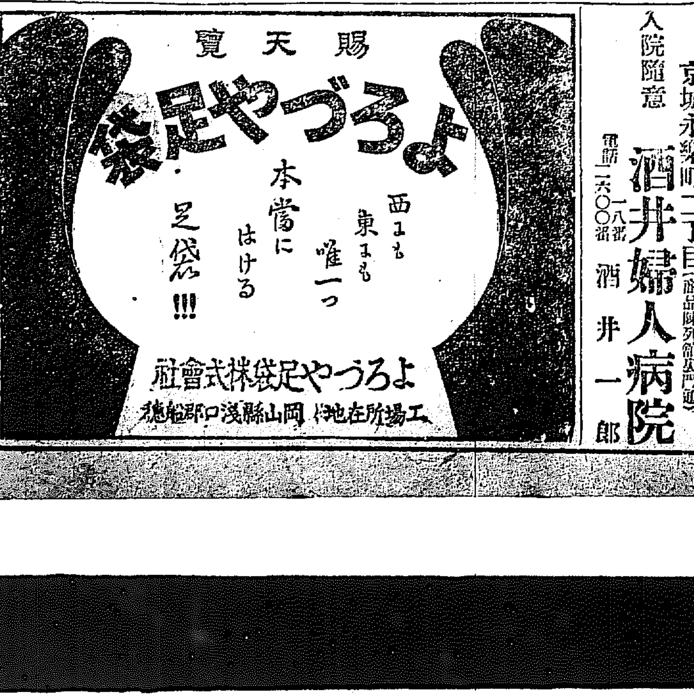
十八日失火の際は早速御馳付御盡力被下御厚情奉謝候早速參上御禮可申述筈の處御尊名伺洩れ有之やも難計候間不取敢紙上を以て御禮申上候 平壤 脇阪寫眞部 脇阪新聞部 吉村源治

畑硝子工場 硝類京城古市町電話二七四六 硝子工場 細工…其他一般の御注文に可應候

十八日類燒の際は早速御馳付御盡力被下御厚情奉謝候 平壤 古莊仁太郎

平壤大和町(イロハ順) 平壤藥品販賣所 同 鳥羽兵助 同 華頂寺 同 練光寫眞館 同 中村眞三郎 同 古賀保商店 同 小林吳服店 同 出光政義 同 廣島彥市 同 末宗芳作 同 鈴木時計店

# 磨歯ライオン




謝近火御見舞 朝鮮商工株式會社

謝近火御見舞 電氣興業株式會社

入院隨意 京城永樂町二丁目(商品陳列館東門通) 酒井婦人病院 酒井一郎 電話一八〇〇番 一六〇〇番

御化粧用 ベスパー石鹼 VESPER TOILET SAVON 大連 萬玉洋行

瀨戶外科皮膚科醫院 京城旭町二丁目(旭三丁目) 醫學士 瀨戶潔 (診察夜九時迄) 電話二四九八番

舶來品 浪板 入荷 京城本町三丁目 佐藤半次郎商店 電話二四三番 電略(サト) 振替口座京城一〇二〇番

# 或る日の總督夫人
## 內鮮融和の爲め
## 私立梨花學堂を視察し
## 校長ア女史と親しく語る

齋藤總督夫人春子の方は內鮮融和の爲めに絶えず努力する處あり十九日

**總督夫人は** 伊藤秘書官夫人富士子を伴なひ午前十時四十分自動車にて官邸を出で貞洞なる私立梨花學堂を訪問親しく觀察したれば梨花學堂では突然の事とて出迎ひも出來なかつたさいよ夫人は校門で自動車を捨て伊藤夫人を從へて小春日のやうな雪解けの校庭を靜かに

**校舍に進び** 校長ミスアッペンサー女史の出迎ひを受けたのち校長宅に於て午餐を認めアッペンサー女史と四方山の打解けた話を交へ午後二時歸邸せるが此場合の樣子に就き自動車の運轉手は語る『總督夫人は實際立派な御方です、總督閣下が公務御多忙の爲外出の

**機會も尠い** ので總督夫人がよく方々へ御出かけになりますが全く御感心な御方です』と

# 旅客に申譯無し
## 列車の常に遲著する理由
## 是に對する京管局の處置
京管局運輸課長　安藤又三郎氏談

昨今の如くに列車が常に遲れ勝ちである事は誠に旅客に對し

**相濟まぬ儀** であるが自分は全く世間に對して合す顏も無い許り氣まりの惡い思ひをしてゐる列車が遲れると云つても決して從事員が怠けてゐるのではない從業員は大晦日も元日もなしに不眠不休任務の遂行を心掛けてゐるのであるが何分機關車が惡いので思ふやうに行かぬ是は全く

**戰爭中虐使** した結果である併し機關車が惡いからとて列車の運轉に任せてゐるのではない如何にして是れを改善せしむべきかに就いては日夜考究してゐる次第である併し昨今の如き嚴寒にあつては今の機關車では是以上に働かす譯には行かぬ第一釜に炭を焚べる時蓋を開けると

**寒い空氣が** 釜の中に侵入する是が爲めチウブが漏洩して運轉が出來なくなるから從つて遲れるし又スチームを送る力もなくなるのである第二に寒さが嚴しいから蒸氣が上がらない斯うした故障があるが爲め嚴しい寒さの時には常に遲れ勝になるのである是に對し京管局では工場の作業方法に改善を加へ

**能力の増加** に努め工場の増築を行ひ老朽機關車の改善と共に牽引力多大の機關車の新造に努めてゐる次第であるが近く旅客の辜負に酬ゆるの機ある事を信じて疑はぬ

# 公設市場と市中の物價
## 一月中旬の比較表

京城府內公設市場と市中一般の物價を本月中旬の調査にかゝる京城府比較表中の重なるものを擧げると左の通りである

| 品名 | 單位 | 公設市場 | 市中 |
|---|---|---|---|
| 味噌 | 百匁 | [illegible] | [illegible] |
| 白菜漬 | 同 | [illegible] | [illegible] |
| 澤庵漬 | 同 | [illegible] | [illegible] |
| 生薑漬 | 同 | [illegible] | [illegible] |
| 鹽辛 | 同 | [illegible] | [illegible] |
| 小豆白 | 一斗 | [illegible] | [illegible] |
| 芥子漬 | 百匁 | [illegible] | [illegible] |
| 金山煎子上 | 同 | [illegible] | [illegible] |
| 明太子上 | 同 | [illegible] | [illegible] |
| [illegible]並品 | 一貫 | [illegible] | [illegible] |
| [illegible] | 一個 | [illegible] | [illegible] |
| 赤貝 | 同 | [illegible] | [illegible] |
| 東京漬 | 百匁 | [illegible] | [illegible] |
| [illegible] | 一袋 | [illegible] | [illegible] |
| タラシ | 一個 | [illegible] | [illegible] |
| 鷄卵 | 十個 | [illegible] | [illegible] |
| 同上 | 同 | [illegible] | [illegible] |
| 川柳 | 一本 | [illegible] | [illegible] |
| 同 | 同 | [illegible] | [illegible] |
| コーヒー中 | 一個 | [illegible] | [illegible] |
| 林檎紅玉上 | 同 | [illegible] | [illegible] |
| 同倭錦上 | 同 | [illegible] | [illegible] |
| 同國光上 | 同 | [illegible] | [illegible] |
| 梨上 | 同 | [illegible] | [illegible] |
| 同中 | 同 | [illegible] | [illegible] |
| 蜜柑上 | 一箱 | [illegible] | [illegible] |
| 牛蒡 | 百匁 | [illegible] | [illegible] |
| 上白米一等 | 一斗 | [illegible] | [illegible] |
| 大豆特 | 一升 | [illegible] | [illegible] |
| 鷄肉 | 百匁 | [illegible] | [illegible] |
| 豚肉 | 同 | [illegible] | [illegible] |
| 牛肉ロース | 同 | [illegible] | [illegible] |
| 上肉 | 同 | [illegible] | [illegible] |
| 中肉 | 同 | [illegible] | [illegible] |
| コマ切肉 | 同 | [illegible] | [illegible] |
| 豚肉 | 同 | [illegible] | [illegible] |

備ほ市中値段は現金賣を示せるを以て掛賣は品により五分乃至一割は高價であらう而して鳥獸肉、海産物の價格は比較的高低が少いが米穀類野菜は漸次騰貴の傾向を示して居る

# 娘を狙ふ天然痘
## 怪しからぬと云ふので當局は臨時種痘を開始
## 注意が肝要

近頃市內には天然痘が大分流行し始めた警務局衞生課の調査に依ると現在患者は本町管內十二名、鍾路六名、龍山五名計二十三名中未種痘者は內地人七名鮮人五名あり受種不感者は鮮人三名內地人一名であるが內地人患者は年齡十七八から二十一二歲の妙齡の婦人が多くあたら嫁入前の大事な顏を臺なしにする者が尠くないこの事だから注意が肝要である。當局でも之に鑑み臨時種痘を開始する由で目下府で急速準備中、不日發表の筈である。

# 東京大相撲春場所（四日目）
## 四日目勝負

東京大角力春場所四日目（十九日）の主なる勝負如左（東京特電）

| 勝 | 技 | 負 |
|---|---|---|
| 桐の花 | 押し倒し | 野分山 |
| 太刀海 | 寄り倒し | 佐賀錦 |
| 若常陸 | 突き出し | 綾鬼 |
| 大岬 | 突き出し | 今出川 |
| 鶴ヶ濱 | 寄り倒し | 神力 |
| 栢錦 | 下手投げ | 東川 |
| [illegible]見藤 | 押し倒し | 八重高 |
| 綾ヶ嶽 | 寄り切り | 錦洋 |
| 能代潟 | 寄り切り | 八甲山 |
| 若葉山 | 押し倒し | 遂ノ矢 |
| 東雲 | 寄り切り | 太刀光 |
| 土州山 | 叩き込み | 御西山 |
| 釋迦嶽 | [illegible] | 小松山 |
| 綾川 | 捻り出し | 射水川 |
| 福柳 | 寄り倒し | 若湊 |
| 宇都宮 | かけ倒し | 黒瀨川 |
| 阿蘇岳 | 上手投げ | 岩木山 |
| 常ノ花 | 寄り倒し | 白岩 |
| 三杉磯 | 押し切り | 宮城山 |
| 源氏山 | 押し切り | 千葉崎 |

外掛け倒して勝▲阿蘇ヶ嶽・岩木山は岩木右差し阿蘇上手を引き押し合ひ阿蘇上手投にて勝▲白岩・常の花は左上手引き寄り倒して常の勝▲三杉・宮城山は宮城右差し左を當て鋭く寄り三杉廻り込み右に敵の左を攻め押し切つて三杉の勝

**源氏山に千葉崎** は突き合ひ源氏放れ千葉泳ぐを双筈にて押し切りて源氏の勝は大喝采▲大錦に大潮は右四ツ潮深く下手褌を引き左に前褌を引かんとするを大錦引かせず俵にかけ吊り出さんとし潮粘りて右外掛にて掛け倒さんとすれば錦左に切つて取らんとし潮鎗ゝ預け浴びせ倒して錦の勝は大角力なり▲清瀨川に栃木山は清瀨取つたりに行き栃木泳ぎしも立ち直りて右四ツ栃木下手にて突き落して勝

中入後

大鳴門に友の浦は突き合ひ鳴門兩手を以て友の顏を攻め引き落して鳴門の勝▲大の高に逆鉾は右に敵の左を押へ押し倒して勝▲小牛田山に鞆泉は小牛田二本差し寄り土俵際にて鞆泉を預け打つ遣り團扇は小牛田に揚りしも物言ひ付きて丸預り

**矢筈山に九州山** は九州左差し右筈に行き押し合ひ危く捻つて九州を追ひ込み綺麗に巻き落して矢筈の勝は大喝采▲大門岩に琴ヶ浦は琴寄り大門左を引つ懸け小手投げを打ち右四ツ更に小手投打つて大門の勝▲紅葉川に兩國は紅葉双筈にて押し右を呼び込みて小手を振るを捻り落して紅葉の勝

**大戸平に對馬洋** は左四ツ大戸掬ひ投げを打ち敵の腰碎くるを寄り切つて大戸の勝は見事なり

**鳳に大の里** は大の敵の左を取つたりに行き殘るを双筈に押し切つて大の勝は大喝采

## 五日目取組（打出し六時）

若葉山・大ノ高　八甲山・太刀光　友の浦・東雲
御西山・黒瀨川　小牛田山・大ノ里　琴ヶ浦・大門岩
綾川・阿蘇嶽　清瀨川・白岩
常の花・矢筈山　對馬洋・若湊　栃木山・大潮

中入後

源氏山・鳳
岩木山・土州山　大鳴門・釋迦嶽
兩國・射水川　福柳・小松山
宮城山・紅葉川　宇都宮・三杉磯
九州山・千葉崎　大錦・大戸平

四日目の殊勳者　（右）大戸平（左）大の里

# 我兒殺し
## 迷信から

青松葉を敷いた上に裸體で仰臥させ作ら焚く

江原道金化郡近北面斗村里八八一飲食店營業李明宗（三三）の妻金姓女（三二）が實子玉姫（九）の持病の癲癇を治療しようとして遂に死に到らしめた

**過失致死事件** は慘酷なる過失とは云へ氣の毒な事である金姓女は三年前、夫李明植と離婚して前記李明宗の妻となつてゐたが大正八年陰六月夫李明植が二人の間に出來た實子玉姫を伴れて來たので當分手許に置く事にしたが何しろ持病の癲癇があるので如何かして癒したい親心から居村某の娘が

**青松葉で燻して** 治した奇蹟を聞いて客臘十月二十日の午後早速玉姫を溫突內に青松葉を敷いた上に裸體で仰臥させ上から青松葉を並べて溫突を焚いたので玉姫は苦しさに堪へず悲鳴を上げたが奇蹟を信じた母親金姓女は子供可愛さに却つて顧みもせず尙々盛んに焚いたので不注意な母の熱氣を以て幼兒の生命を奪ひ神經麻痺を起させ

**遂に同日夕刻** 死に至らしめたのである此の事が所轄警察の知る所となり取調べの末、十二月廿五日京城地方法院檢事局支廳の手で過失致死の罪名に依り金姓女は罰金六十圓に處せられたが李明來は證據不充分で放免せられた[illegible]金姓女は[illegible]の死に對して罪のない事を信じ控訴申立をしたので近く京城覆審法院の公判に附せらるべし

# 京城短歌會

來る二月八日第二日曜を期し京城短歌會を開く、同好の士の參會を歡迎す、尙出席不可能の方は左記兼題と共に住所姓名明記の上御通知ありたし（原稿印刷都合上寄稿は迅速を望む）一般に投稿は自由さし兼題は互選の上發表す

▲日時　二月八日正午
▲會費　五十錢
▲會場　追つて發表
▲兼題『空』『春』各一首宛

京城日報社內　京城短歌會

# 新家庭
## 生活の改造と主婦の覺悟
一婦人

大正九年は私共が家を成してから、二十一回目の門松を潜るのですが此機會に於て家庭生活上出來る程度に於て生活法を一轉しようと相談し、之が準備に取かゝつたのが八年の十一月中旬でした。私共の樣な小家庭のことですから何も御參考にはなりますまいが……

▲家族恐く働くと　私共の家庭は七人家族で相當に手も入りますが思ひ切つて十一月末日限りで女中を廢止し一家のことは主婦が主となり末ッ子二人の外は家族各家事を分擔すると同時に定め十二月一日から準備の實行に取掛りました。既往約一箇月の經驗で實行し得る事を確めましたので他人混じへぬ一家が極めて樂に暮し得ます

▲掛け買をせぬと　習慣の久しいことで實行が却々容易でありませんでしたが、さていよく決心して斷然やつて見ると初めの十日程は背でしたけれども何でもなく行けるものと生活の安定を得た心地がします

▲交際費節のこと　是は鳥渡むつかしいことですが結果は九分通りはいにやつて見ねば判りませんが時には目をつぶらねばならぬ場合もあらうが、つとめて實行して見る決心です、猶ありますがまアこれだけに……

# 義太夫評判

▲文樂座の初春興行は盛況…路の寺子屋と阿古屋琴責めが呼物、琴責めは何年振りの出し物か知らぬが定めて聽き物だらう▲琴責めは京城でも一二度聽いたが何も興味が起らない、三曲など文樂でないと舞臺に似らないやうだ▲越路の寺子屋は四年前越路が來鮮した時の寺で此時の菅四は極めて不評判であつた、越路は文樂で無二の偉い人があるが是は一理あろうやうだ▲『太掾菱妓ほど酒の座に不向な者は無い』さいふ藝術家がある、是れはフトを云つた譯ではあるまいが中には『私はフトで御座い』と澄し込んでゐるのがあるそれが義太夫と酒は調和せぬものと皆客の眼に映じたのであらう

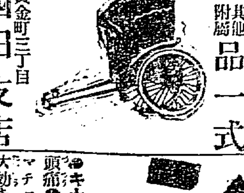
○本能寺日曜說教　十八日午前中市內本町四丁目日本能寺にて時間通りの定めなく法華經日蓮主義の根本法門を主として習慧階級の爲に伽若書敎壇式に之を行ひしが御後每日曜之を行ふ由尙住職寺にては十九日午後一時より婦人會定期會に新年會を兼ね行へり

○故井清氏夫人逝去　總督府醫院藥局井清氏夫人駿子は永らく病氣の爲內地に歸り療養中の處去る十日より[illegible]目に罹り急性腦膜炎を併發して去る十七日遂に絶息せり[illegible]尙清氏は十八日急遽歸郷せり

來れ、健兒諸君！！
# 全鮮スケート競技大會
期日　一月廿五日
場所　漢江人道橋附近
資格　隨意（一人二種以內）
申込　往復葉書に出場種目を記入し住所氏名年齡職業を明記し一月廿二日迄に本社運動係宛に申込まるべし
競技種類　滑走五周、十周、二十周、スプーン、提灯、變裝、鉛筆拾ひ、背進、旗取、二人一組、スリ、カーブ、S字形
主催　京城日報社

乘合自動車
▲沙里院……海州間
▲天安……大川間
▲金泉……尙州間
▲鳥致院……淸州間
右過日大吹雪ノ爲メ一時運轉休止致候處此節所モ有之候モ運轉相始メ候間各位ノ御乘車ヲ望ミ候
京城南大門通リ三ノ九八　電話一〇一番
織居自動車部

京城岡崎町五番地　電話一二〇番
織居自動車製作場
ボデー其他御用命ニ可應候
精々勉強御用命之品共

人力車製造販賣
修繕附屬品其他一式
車夫用雨合羽

京城黃金町三丁目
西田支店
製造工場　黃金町三丁目一八六
並ニ醸造用特約販賣
種麴もやし

株主失權公告
[illegible]
大正九年一月　日
東洋拓殖株式會社

耳だれ
耳だれは耳の病の中で最も恐しいものであります…
東京芝區愛宕町　服部新藥研究所

急告く急告
毛布暴落買時
本毛製特別大判　金三圓廿五錢（茶、鼠、カーキ色）
軍隊用と亞弗利加輸出の爲に特製せられる毛布…
東京神田株式會社東京毛織仲賣店

專賣特許發明の元祖
製麵機の元祖

麵機發明の經歷長くも大臣に達し發明者眞崎照卿は藍綬褒章を下賜せらる
眞崎式製麵機械
●製麵機深山入荷
特許八谷式製麵機械
製麵機特約店募集
朝鮮大田本町二丁目
眞崎出張所
振替京城六二六七番

▽採用▲
チアテルミー係
內地人助手一名
（但十八九歲以上二十五歲迄ノ希望者履歷書携帶本人來談あれ）
京城日報社代理部

惡性のかぜねつ
一番よくきく
キナピリン
略効
●キナピリンは●感冒●熱病●頭痛●インフルエンザ●リョウマチス●間歇熱（マラリヤ）等に大効あり
（定價十錢・廿錢・卅錢・五十錢・壹圓）
大阪市堂島元蜆橋
本舖　高橋盛大堂藥局
●到る處の藥店にて販賣す

りん病　ばいどく
請合藥
有田ドラッグ
京城南大門外停車場通　有田ドラッグ朝鮮本部
京城黃金町三丁目電車通　有田ドラッグ
龍山練兵場前　釜山大廳町二丁目　元山本町三丁目　平壤道廳正門斜向　仁川宮町二丁目　大邱寺町停車場前　鎭南浦警察署前　開城南本町二八九　晉州大安洞　大連岩代町
にせ物あり
東京日本橋　大阪心齋橋
にせが出來るヨ

最新刊
勞働問題　普通選擧
美の廢墟に起ちて
現代の社會的進步
わぐねる歌劇集
動物學講話
亞米利加講話
結婚まで
日蓮主義の新研究
白孔雀
勞働常識
京城本町一丁目　大阪屋號

美乳の
お年を召す程却て美くなる＝何故？
效果が日增顯はれる證據！
年が寄る、それに比例して小皺が寄る、其の淋しい女の煩悶は日本に初めて出來た美白乳劑美乳の創製に依つて容易に解決せられました、美乳を朝夕洗面のあと顏上的に一滴づゝ使用すれば皮膚の內面組織を色白くすると共に美容液の作用が皮膚を天鵞絨の如く柔かに美しくさせますからお年をお召す程却つて美しくなつたと稱讚されるやうな譯、美乳の效果が日增に顯はれる證據です、斯うして皮膚を整へた上いざ外出といふ時は『美乳白粉』で水際立た化粧を！
美乳白粉本舖　矢野芳香園

眼科專門
入院隨意
京城明治町東拓横（電話一〇四四番）
江頭眼科醫院
日曜祭日午後一時迄
江頭富雄

女歌舞伎　中村鯉登一行
一月廿一日午後五時初日開演
一番目　新薄雪物語
中幕　式三番双引抜だんまり
切狂言　御所櫻三段目辨慶上使
京城本町二丁目　壽館

コールタール
京城電氣會社産出
京城鮮滿一手販賣
龍山漢江通り八　電話四九番
金物商　島田忠作商店

日本優等清酒
灘津　花木本家釀造
クフムスメ
特約販賣
京城　島屋本店販賣部
電話九〇三番・二二三〇番

內科　小兒科
森病院
醫學士　森定吉
入院隨意
京城明治町二丁目江戶川横（電話六三番）

水道の水
京城水道の水不足は絶わず市民をしてねばならなくなるであらう[illegible]が又此頃は配水池の水[illegible]「京城水[illegible]」こでである水道係として極力監督をやつてゐるが市民側か[illegible]

地雷破爆
地雷爆破演習を實施したるが爆破後に土砂黑煙と共に天に冲し[illegible]

連絡船上陸客
雄、三段萊次郎、北澤直赴、島岡、高橋、藤田駒吉、同ふさ、同さよ[illegible]花太郎、外人三名、二等九十五名、子、同しよ、東もみ、川村光治、同房子、[illegible]吉氏、藤田、井田裕輔、安部三郎、[illegible]

……高臺へは配水困難となる

此の節……一日には……使用量があるので到底水の足りない……三尺內外に減つて高臺へは配水する宮がない此十……酷寒から急に減り出した原因は凝水と放水……困難となり然も制限給水をやら……

……龍山工兵第二十……補助大尉指揮の下に二十日午前八時より西氷庫西方高地に於て……研究を行ふ由

……市、岡よのし、……三角愛三、古谷虎雄、富島世田男、山本……長田直四郎、竹田猶四郎、小黒安郎、徳永勇、庄司藤左衛門、中山郎……、小川……、太田益太……、小野寺……藤原理之助、太部……、山本……

本社主催全鮮スケート競技大會

# 大會役員決す

## 想へ江上の壯觀を＝大會日いよ〳〵切る

### 選手申込は來る二十二日限り　特に少年部を設けて盛觀を加へん

### 來れ、起て、全鮮スケート界の精鋭よ

酷寒と氷雪に虐げられた人間が茲に敢然として蹶起し却つて酷寒と氷雪と大自然の征服者となる事の如何に男性的で然も壯快な事であらうかは想察するに餘りがある」見よ、白皚々たる大氷雪上にスケートする青年の意氣を。其の勇姿を

本社が漢江々上スケート大會の壯擧を發表せる以來全鮮運動界は早く既に緊張の色を極め遠く安東、平壤、開城等より選手申込陸續として殺到し當日の大會は全鮮スケート界の猛者を殆ど網羅し盡して其盛況其壯觀は蓋し素晴しいものであらうと想はれる。而して又之と同時に我が朝鮮スケート界のレコードを我が大會によりて國の內外に示し得ることであらう。【新へ青年】

尙ほ本社の壯擧に對し朝鮮體育界は多大の贊意を表し體育界教育界軍隊側其他各方面の諸名士は何れも當日の大會役員たることを快諾された朝鮮銀行總裁美濃部俊吉氏が朝鮮體育協會々頭の故を以て競技委員長に步兵第四十旅團長陸軍少將奧田爲熊氏が審判委員長として其他の鮮各方面の名士が競技審判兩委員として深甚なる後援を爲すべき旨夫々快諾せられたのは本社の光榮とするところである

**競技委員長**
朝鮮銀行總裁朝鮮體育協會々頭　美濃部俊吉氏

**競技委員**（順序不同）
京畿道第三部長　千葉了氏
漢城銀行專務取締役　韓相龍氏
朝鮮製絲株式會社專務取締役　石鎭衡氏
京畿道參與官　俞星濬氏
總督府警務局長　赤池濃氏
總督府學務局長　柴田善三郎氏
京城中學校長　柴崎鐵吉氏
龍山中學校長　福嶋亦八氏
京城高等普通學校長　岡元輔氏
朝鮮殖產銀行理事　櫻井小一氏
朝鮮商業銀行營業課長　池田庄五郎氏
京城府尹　齋藤禮三氏

**審判委員長**
步兵第四十旅團長陸軍少將　奧田爲熊氏

**審判委員**（順序不同）
警務局保安課長　卜部正一氏
同事務官　丸山鶴吉氏
同高等警察課長　白神佑吉氏
總督府土木局技師　岩井長三郎氏
同　大嶋滿一氏
滿鐵京城管理局運動部長　中野深氏
朝鮮銀行秘書役長　飯泉幹太氏
朝鮮銀行司事　木塲貞一郎氏
辯護士　崔鎭氏
善隣商業學校長　田代仲次郎氏
瀨戶病院長醫學士　瀨戶潔氏
滿洲日々新聞京城支局長　菊田良卓氏
步兵第七十八聯隊長陸軍步兵大佐　富塚禎一郎氏
同七十九聯隊長同　堀田信直氏

### 參加申込殺到す

當日の競技は青年部と區別して特に少年部を設けスプーン、滑走五周、十周、廿周、競爭、旗取等の競技を行ひ青年同樣に出場回數は一人二種以內であるが競技參加申込み者は既に非常に多數に達してゐるから申し込み期限迄には或は滿員謝絕の止むなきに至るやも計られぬから申し込みは大至急に願ひたい締切は一月廿二日迄なので剩す所僅かに二日である申込遲れのないように此際大至急申込まれたい

佛國新大統領デシャネル氏

# 出征部隊通過

## 第十三師團の一部隊

### 一行中にはお馴染の竹內大佐あり

### 我社は龍山驛構內に休憩所を設けて茶菓を饗應

西北利に出動を命ぜられたる第十三師團の一部は敦賀より乘船浦鹽に向ひ一部は朝鮮經由西伯利に向ふこととなり來る二十四日二十五日及び三十日の三回に亘り龍山驛を通過北行すべく第一回の通過には甞て朝鮮高級副官たりし步兵第五十八聯隊長竹內榮喜大佐あり我社に於ては構內の僞龍山驛構內に天幕を張り茶菓を饗應すべく今や其準備完成したり諸日白皚々として氷河の如き西伯利に向ふ軍隊の爲め京龍市民は擧つて龍山驛に到り犒ふ處あるべく通過時間は確定せるも未だ發表の時機にあらざるを以て追つて發表すべし

### 犒軍方法を協議す

今回西伯利に出征の命を受けたる高田步兵第五十八聯隊は來る廿二日より釜山港に上陸し一泊の後順次北行出發の筈なるが之が送迎並に犒軍方法に關し廿日午後一時より釜山府樓上に於て協議員學校組合議員各町代表者各新聞記者等參集の上種々協議をなす（釜山）

# 伊太利飛行機の歡迎

### 準備打合會を總督府に開催

伊太利飛行機來翔に就き十九日之が歡迎準備打合會を總督府に開き關係者參集協議する處ありたるが

**委員長に** 青木總督府馬務部長を擧け其他左の通り委員を指定せり

▲庶務係主任副島中尉▲飛行將校接待係主任今村通譯官▲接待係主任佐藤渡通譯官▲設備及車馬係主任服部京城府事務官▲歡迎晩餐會係同人▲會計係同人▲奉備係主任千葉京畿道第三部長▲救護班陸軍及總督府より各一班

又着陸より出發迄の順序次第は先づ豫定の着陸場へ飛行機の着陸を俟ち奏樂裡に接待係は

**搭乘者を** 誘導して休憩所に入り少憩の上紅茶、ブランデー、菓子、莨等の接待を爲し次いで衞戍司令官及び伊國領事の歡迎の辭ありて後一機に付一個宛花輪を贈呈し終りて軍司令官々邸へ誘導し此處にて晝食を認め午後總督府に齋藤總督を訪問し朝鮮ホテルに於ける伊太利領事の午餐の饗應あり直に接待係の案內にて市中を巡覽歸來直ちに朝鮮ホテルに於ける

**官民聯合** 歡迎晩餐會へ招待席上齋藤京城府々尹の歡迎辭ありて夫々記念品を贈る豫定なり多分一行は京城一泊の事となるべく旅館は朝鮮ホテルを以て充つべく準備を整ふべし

府內貞洞の火事（下圖中央に指揮せるは千葉第三部長）

# 李王世子殿下の御婚儀又復延期か

### 池田侯爵母堂逝去の爲め

池田侯爵及母堂の逝去に由り同家と御近親の間柄なる久邇宮兩殿下梨本宮兩殿下同方子女王殿下にも御服喪あらせらるゝに就き來月廿九日の李王世子殿下の御婚儀は又復延期の已むを得ざるに至る可しと（東京特電）

……に於て滿州北京新義州と連絡を取り歡迎準備に就ては遺憾なきを期する筈なり

# 李堈公殿下の東上期

### 陽春三四月の頃ならん

李堈公殿下の東上決定せるは既報の如くなるが目下宮內省にて殿下著京の御居邸を選定中にて急速に決定を見る可しと雖も邸內外の模樣替修繕等に相當の日子を要すべければ從つて殿下の東上期は早くも三四月の候に至るべしと尙御本邸たる和宮は御家族其の他居住の爲め現在の儘に依然御保存の筈なりと

# 列車の正面衝突

### 東清線の大椿事

十九日午前九時東淸線双城堡驛に於て旅客列車と哈爾賓より來れる貨物列車と正面衝突邦人露人三名支那人二名の死傷者を出せり原因其他詳細目下取調中（長春特電）

# 不穩文書の輸入を監視す

### 其形跡なし

在支那上海の不逞鮮人が不穩文書を屢々母國朝鮮に輸入せんとして各種の手段方法を講じつゝあるので當該警務官憲も從來より嚴重な監視を怠らず極力輸入防遏に努めつゝあつた所過般來上海假政府の宣傳不穩文書が仁川方面より輸入されるやの風評があるので仁川警察署では嚴重なる監視を續けつゝある由なるが聞く所に據れば近來海上風波高くジャンク船の航行は殆んど不可能なる上に支那方面より仁川入港の船舶は一樣に檢査を行ひつゝあるが全く不穩文書輸入の形跡を見ない由である

# 理想的な青年會館

### を東本願寺で建設する

東本願寺にては曩て鮮人の訓化及び救濟を目的とする一大青年會館を建設する計畫ありしが

**其敷地** として義州通り元日本公使館跡大然亭千二百坪を總督府より提供されたるを以て近く建設に著手し本年中には竣成の豫定なり總工費は約二十萬圓の見積りにして洋式煉瓦建とし其事業としては職業紹介、人事相談、家庭法律顧問、徒弟教育、夜學、精神修養其他各種の社會事業に貢獻せんとするに在り。而して

**右事業** の計畫實行には南山町本願寺別院に駐在中なる谷派朝鮮布教監督役內弐惠師主として其衝に當り居れるが該事業計畫の動機は全く鮮人本位の社會事業及び訓化事業を行はんとするに在り且つ該事業は本願寺直營とは云へ全然宗敎臭味を放れ總督府當局との交涉なき

**純然た** る社會事業本位の機關たるべき目的なりと云ふべし右事業の計畫に就ては京城の各富豪及び朝鮮諸名士何れも賛意を表し居れりと云へば近く理想的の青年會館の實現を見るに至るべし

# 問題の女小時の戀（五）

### 『中村家に纏る怪事件』の女主人公時子の身上話

### 冒險、東京ホテルの經營

**急轉直下した兩人の緣談**

時子は京城に著くと直に中村家を訪れた。そして緩に會つて一萬圓の贈費に就て起つた有の儘の事實を報告した。緩は勿論中村家でも心配せずには居られなかつた。一方東京の髮結床の爺は時子の家出に大事な金儲けの種子を逃がしては殘念と思つたものか、早速

**時子の後** を追うて中村家を訪ねて來た。中村家でも段め覺悟をして居たので談判は巧く成功し結局爺に汽車代として二百圓を與へ京城から追ひかへした。之で此の事件は一段落付いた。然し殆ど向ふ見ずに敢行した時子の中村家訪問は種々な點に於て

**好都合な** 結果を齎す如くになつた。つまり時子の正直な報告によつて中村家は或程度まで金錢上の災厄を脫れ得たのみならず、時子が如何なる女であるかを知ることが出來たので兩人の緣談は都合よく進んで行つた。當時時子は中村家と親戚某氏の宅に寄食して居たが、某氏は愈々兩人の

**媒酌人と** して兩人の緣談を取纏めた。そして結納金百圓を持參して東京の時子の母に屆る爲め東京へ出發した。數日後某氏は東京から歸つて來た。ところが某氏が東京から歸つて以來中村家の態度は忽ち一變し緣談は

**破棄され** ることになつた。それは時子の身元調査の結果話し向きが變つたらしかつた。時子も殘念ではあるが幾何辯明をしても亦緩が如何に結婚を主張しても中村家では聽き入れて呉れなかつた。結局三百圓の金を貰つて悲しい胸を抱き乍ら時子は東京に歸つて行つた。緩は當時京城銀行に出て居たが

**折角順調** に進んだ緣談が斯うした結果を見たことを憤慨すると共に、流石に時子と別れるのが辛かつた『自分も必ず後で行く……』と緩は時子を慰めて別れた。そして互に暗號帳を作り、それに依つて双方の都合を電報で照會し合つた。間も無く時子は再び京城を訪れて天眞樓に宿泊した。そして

**緩と一緒** に東京に逃げる約束をした。それまでは未だ前に貰つた三百圓が幾分殘つて居たのでそれを二人の旅費に當て、緩は無斷で家を飛び出し時子と一緒に東京に出發した。東京に著いて兩人は愈々途方に暮れた。衣類なども大抵は質に入れて食つて居た。窮した揚句兩人は可成り

**冒險的な** 計畫を樹てることになつた。それは麴町の東京ホテルを成人の手から讓り受けて經營すると云ふ計畫であつた然し之には一萬數千圓の讓受費が必要であつた緩は當時禁治產の宣告を受けて居たので金は勿論自由にならなかつたそれで巧に親の名を藉りて

**約束手形** を振り出し辯護士などからも種々の智慧を借りて兎も角も東京ホテルを經營することになつた。

# 西方の大働きで

### 優勝旗爭奪戰が見物だらう

### 舊東京力士龍ケ崎の＝東京大相撲懷舊談

舊東京力士龍ケ崎事今は鳥料理喜久家の主人を訪ひ東京大相撲本場所評を乞ふと頭は五分刈でも偉大な體格は今も往時の俤を見せる其人は

**懷舊の情** に堪へぬやうな面色を浮べて語る『相撲を離れた土地に居ますから別に之れと云ふ程の話もありませんが昔の相撲と此頃のとは大分取口が違ふやうになりましたね、私共の時代までは技と力量でとりましたが近頃では頭腦と呼吸でとるやうな傾きになりましたから昔のやうに土俵一杯になつて氣輪そつくりな相撲などは見られないやうになりました、自然見物衆の見方も違つて以前の如に熱然した氣分は減つたやうですね

**此場所で** すか、西方が大分働くので却々面白い勝負が見られさうですね、今の分なら優勝旗爭奪戰が見物でせうが中日過ぎから什麼なりますか優勝旗の面白味のあるのは脂の乘つた七八日目あたりですナ。世間では東西の陣立に餘り相違がありすぎて興味が薄いと言ひますが西方だつて一人々々にして見れば隨分立派な關取が多いのですから闘贈的に稽古熱心なら本場所が面白くない筈はありません千葉崎三杉磯なんかは大したものです、大關も多少の危氣はあるが

**艦に強い** 相撲だし大物喰ひの手です。鳳の事を負擔綱なぞと惡口を言ひますが鳳は未だ〳〵確かな者です。横綱は強くなければならないが大だけが能ではありません。格紫行家ではないが大戶平、紅葉川、小松山、常瀨川、新入幕の連中も相當働き手です。……が具備してなければ眞個の横綱とは言はれませんよ。東方の出羽の海門下の横綱ひは今更云ふ迄もないが栃木大錦兩横綱は未だ大丈夫で

**大丈夫で** す常の花大門岩は何れ大鵝物ですね、氣の毒なのは宇都宮と九州山です。井筒部屋では源氏山が一番です外の連中も中軸處の働き手です。十兩では能代潟、太刀光、鞍ヶ嶽、若葉山、大蛇山、鶴ヶ濱等は將來有望な一粒選りで此の中からは大關も横綱も出るでせうが角力は水物で愈々其位置へ躓けて見なければ解りませんよ、後から什麼強い者が出るか中年から飛入の太刀山のやうなのがありますからね

**番附では** 蟲眼鏡で見るやうな中にも横綱や大關が轉がつて居るんですからね』

# 神戶に又復有菌鼠

神戶にて又復有菌鼠を發見したり（神戶電報）

# 故寺內伯の銅像

### と寄附金募集

故寺內伯銅像は田中陸相後藤男發起となり原首相長谷川奧村伊集院各元帥伊東子爵上原島村仁田原本郷各陸海軍大將田澁澤兩男大養氏等賛成の下に建設することゝなり寄附金を募集せるが寄附金は三月末を以て締切る可しと（東京特電）

# 池田禎政侯

### 母堂も逝去

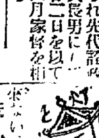
過日來一家擧つて流行性感冒に罹り臥床中なりし舊岡山藩主池田禎政侯爵は十八日夜十時終に逝去せり又同樣流感の爲め病褥にありし侯爵母堂安喜子（六五）の方も亦十九日午前六時逝去し此の悲慘事に邸內涙を以て埋まれり侯爵は享年二十有六（東京特電）

▲略歷▲ 舊岡山藩主故池田章政侯の家は源氏の裔池田信輝の後なり信輝豐臣秀吉に仕へ其子輝政德川家康の二女を娶り關ケ原の戰後播州姬路五十二萬石を領し後備前岡山卅一萬五千石に轉ず其孫光政學を好み熊澤蕃山を擧げて之を用ひ令名あり九代章政維新の際國事に奔走して功あり明治十七年侯爵を授けられ先代詮政に至る禎政侯は其長男にして明治廿八年四月廿二日を以て生れ同四十二年六月家督を相續し襲爵仰付らる

# 府內貞洞の出火

### ウェルチ氏方全燒す　原因は暖爐

十九日午後十一時府內貞洞卅四番地メソヂスト敎會監督ウェルチ氏方より發火したれば急報に依り常備消防隊驅せ付け活動中京城及び龍山義勇消防組驅せ付け協力消防に力めたれども水利の不便なるとペンキ塗の事とて見る〳〵中に同家西洋煉瓦造一棟を燒却二十日午前二時漸く鎭火したり原因は午後六時頃同家雇人某がストーブを焚きたるに其儘放任したる結果焚口の傍に在りし石炭に火が移り斯の如きに至れるものなりと損害は莫大なる書類を烏有に歸したると家屋全燒にて二萬七千圓位の見込なりと尙附近には西大門小學校、梨花學堂其他の大建物あり一時は非常なる騷ぎにて數く……の警官及び憲兵出動警戒したが同家雇人某の子供が猛炎に包まれ悲鳴を上げ居たるを直に消防手が救出し幸ひ人畜には傷害なかりしと



▲流感のマスク……元結……女髮結……に伸へることが……云ふので女髮結だけ……一人も用ひて居ない▲……の公設で賣る白米は一斗五圓七十六錢の運賃と……料は損……だがそれは正の値だらうか▲鐵島が十五……他人々に値上される相である▲東亞煙草の此頃の製品には非常に粗製濫造が多く▲口付金剛の中の煙草がみんな拔けてる▲雨切にも隨分濫造がある▲何處でも大吃言があるらしで馬詰所長が留守でも誰が注意しさうなものだがねエ

**演藝　伊達騷動**　黃金館開演中の中村時……

中村吉十郎一行の歌舞伎一座は連日大入の好人氣であるが三日目に……

**初大師會**　府內西四軒……

龍山では二十日（午後七時）二十一日（午後二時）の兩日に渡り初大師の……行二十一日は一般參詣者に例年の如く……り茶菓の接待あるよし

# 府內の賭博

府內寺町五番地松尾友次郎（五十）同古市町福島仙太郎（……）原留吉（……）櫻井町一の百十二番地……財之助、高橋捨太郎（四十）は十九日午後八時三十分頃若草町……番地松尾方に於て一同に二圓を掛けて賭博開張中本町署川畑……の刑事踏み込み取押へ取調べの結果彼等は前數回賭博を爲せし事あり尙賭博常習者なるの、如く十九日一件書類と共に檢事局に送りたり

# 謹告

朝刊廢止以來當日の新聞は後八時頃より配達を開始致し居り候にも不拘個々の聖朝に至りて配達する個所有之やに聞き及び居り候が若し今後も故なくして斯かる所爲有之候節は直接本社販賣部へ御通知有之度候

京城日報販賣部

# 滿洲と中央銀行
## 日支共同出資の大銀行出現說

滿洲中央銀行を設立すべしと云ふ議論大連を中心として可成に勢力を有するに至り聞く處に由れば例の政友會の策士小泉氏其の他の手に由りて著々發企人の調印を求め居るとの事なるが今に至りて漸く斯の問題が眞面目に討究せらるゝに至りたるは大連地方の策士連の計畫とは異りたる方法の下に滿洲中央銀行の創設が東京に於て計畫せられつゝある模樣にて彼此混同して

**權利屋連が** 計畫等を繼ぎ廻りつゝあるが如く之等の人々の意見は在滿邦人の爲めに滿洲に特種の銀行を設け滿洲に流通する紙幣を發行し以て滿蒙の開發に盡せんとの事なるも今日滿洲には日本銀行券朝鮮銀行券並に正金銀票及び[illegible]行はれ之に加ふるに[illegible]及び滿洲

**各省の發行** する紙幣あり通貨の種類甚だ複雜にして取引上不便尠からず從て此の上滿洲銀行をして滿洲特種の紙幣を發行せしむるが如きは滿洲の通貨を更に複雜ならしむる事となるべし其の實現は

**想像し難き** 處にてただ在滿洲邦人が金融關係上斯くもせばより豐富に資金の融通を[illegible]得るものと考へる外何等滿洲中央銀行を設置し之れをして紙幣の發行を爲さしむるが如き必要を感ぜず ただ滿洲の通貨を整理する一方法として日支協同の

**一大銀行を** 設立し支那人の名を以て新しき信用ある紙幣を發行し日支人間の取引の[illegible]滿洲を開發せんとするの計畫は久しき以前より日支兩國有力者の間に計畫され或は遠からず實現を見るに至るべく要するに近時盛んに唱へられつゝある

**國際通貨の** 學說を稍少しくして之れを滿洲に行ひ以て日支兩國人の取引決濟に用ひんとするものにて勿論三省官銀及び朝鮮銀行横濱正金等も關係を有するに至る可しと某消息通は語れり（大連）

# 奉天近事

**鮮人問題の研究** 在滿洲の朝鮮人問題は帝國民として極めて重大なる關係を有せるものなり殊に在滿鮮人問題は一日も等閑に附すべき問題に非らざれば在奉日本人內地人有志者中特に鮮人問題に興味を有せるもの集まり同問題の研究を目的とせる十五日會なるもの去る十五日を以て奉天に生れたり

**朝鮮人會の解散** 昨年來紛擾に紛擾を重ねつゝありし在奉朝鮮人會は最近に至り紛擾熱は高潮に達し收拾の餘地なきやに見られたるが當局にては十五日鄭會長を招致し遂に解散を命ずるに至れり

# 平北の鐵道網
## 交通狀態一變すべし

平安北道は全鮮中最も交通不便の地と目せられたる處なるが最近に到り鴨綠江上流の大森林及び鑛産物等の天然産物無盡藏なるに着目する內地資本家の鐵道企業をなす事は頗る喜ぶべき現象なるが目下許可せられたる

**朝鮮産業鐵道は** 京義線孟中里を出發點として寧邊、熙川、古仁洞、別河洞等の線に沿ひ江界を經て萬浦鎭に出づる一線あり更に目下其筋に出願中なる鴨綠江沿岸に沿ふて萬浦鎭方面に出づる一線あり一方

**咸興より來れる** 咸鏡鐵道及長津、厚州古邑等を經て厚昌、江界方面に分岐し來るべし此三線にして完成の曉には平北の大高原も鐵道網の恩澤を受くるに到るべし殊に江界、滿浦鎭に鐵道の先頭を出すに於ては當然閑却すべからざるは對岸滿洲の接續線にして通溝、懷仁等を經て撫順に接續する一鐵道の實現を見るの

**時期到來すべし** 此の滿浦鎭、撫順線の開通するに於ては徒らに馬賊の横行に委せられたる東邊道管內の豐富なる物資は依然鴨綠江岸に堆積せられ前記の各鐵道及び鴨綠江の水運によりて

**安東新義州方面** には近に多量の物資を流下し來るべきは火を見るよりも明かなるべしと某當局者は語れり（義州）

# 實業大會議案
## 木浦より提出すべき

近く榮山浦に於て開催の全南實業家大會へ提出せる木浦の議案左の如し（光州）

（一）水利、道路、橋梁の施設及改修を當局に要望する件
（一）棉花共同販賣制の撤廢を要望する件
（一）湖南鐵道の運轉列車を增發し運轉時間の短縮を要望する件
（一）穀の改良に關し要望の件
（一）木浦より群山京城釜山に至る間に長距離電話の架設を望む件
（一）船員養成所設置の件
（一）各金融組合間に爲替取組開始の件
（一）朝鮮産の綿布麻布類の反尺一定に關する件
（一）多島海を巡視する命令航路の開始を要望する件

# 新泰仁（全北）より

全北湖南線新泰仁は近年頓に發展を來し各商業家は市內電話を要望し當局へ交渉の結果經費の關係上交換所設をすることゝなり去る五日其筋より出張測量も終りたるが通話は二十戶を以て設置することゝし尙ほ其他五戶追架を申請する都合なりと云ふ（新泰仁）

# 寶庫を拓く可き
## 全南線と其の開通後

朝鮮全南鐵道株式會社の計畫は旣報の通りなるが目今來道中の同社創立委員松枝元三氏は語つて曰く、全羅南道は朝鮮に於て産業上最も樞要の地位を占有し人口の稠密、氣候の溫和、地味の肥沃なる等他道に於て其の比を見ざる所にして且つ棉花、米穀の如き農産物ハ豐富を極めとし天惠海産物の繁多なる或は鑛物の

**埋藏** されある等無限の物產[illegible]等ならざるは無く所謂三南の寶庫と稱されつゝあるは溢稱に非ざるべし然るに全南の現狀を大觀するに是が開發の先驅たるべき交通運輸機關の缺除しあるに因り惜むらくは海陸幾多の諸物資も空しく死藏さるゝもの尠からず往年に於て甚しく[illegible]べかりし道勢の今に振興遲々たるは一に交通機關の

**欠陷** ありしに外ならず、余は數年前より毎に朝鮮の大局より觀て海陸物資の豐富なること全鮮に冠たる全羅南道に鐵道布設されざることを奇異に感じ朝鮮産業政策上甚だ遺憾とせるものにして余が過去三十年間に大小幾多の官私設鐵道布設に從事したる經驗に鑑み茲に榮山浦より南沿岸諸郡を

**貫通** し慶南河東に連絡する輕便鐵道布設を企圖するに至りたるが、事業資金の總額を金一千五百萬圓の株式組織と爲し目下創立に着手しつゝあり、工事の方法等は更に余並に技師の實地調查を完了したる上確定すべきも要は布設各地方の

**衆望** に添ひ土地繁榮策上大に歡迎する方針なり、全三年以內に速成すべく第一期線工事として羅州より長興へ向け並に麗水港より順天向けの路線に着手すべく海南支線の如きは或は第二期事業に入るべく工程進捗上最も幸ひなるは彼の北鮮工事の如き結氷の困難無く吾が鐵道布設は豫想以上の

**速成** を告ぐるに至らん、斯くの如く最も有望なる本鐵道の實現に就ては余は終始一貫飽迄最善の努力を盡くし一日も迅速に開通せしめ即ち全南開發の爲め貢獻するものなり（光州）

皮膚科徽毒（診察夜九時迄）皮膚病 徽毒病 京城明治町二丁目 佐藤醫院（入院隨意）電話一一七參

# 大田面長問題
## 後任者の選定委員

旣報の大田面長辭職に對する善後策に就ては一月十二日郡廳に參集したる面相談役學校組合評議員各區長は高津郡守より面長の辭表提出理由を聽取したる上相談役及評議員は十四日岸面長にも面會し之れを諭むる事とし散會し越へて十四日に至り評議員等面事務所に參集したるが僅かに中尾草野安井畠山の四評議員なりしも一同は面長の意旨を諒したる後辭表撤回を促したるも其態度の强固なるより何らか善後策を講ずる事として引き取りたる由郡廳に於ても面の執行機關に關する重大問題なるを以て十八日午後一時より更に相談役評議員區長其他有志者を招集し善後策に就き協議會を開き結局此の際斷然たる處置に出て改進をなすべしとの說多數を占めて之れに決し直に後任者選定委員を選ぶ事となり左記面相談役學校組合評議員の外五名（各區一名宛）を選出し午後六時三十分散會したり當日は綿貫道事記も臨席したり

辻讓之助、久納淺太郎、米元之助（以上相談役）中尾富次郎、佐藤德太郎、安宅兵太、塚原義親、荒川代作、草野富士太郎、畠山源一郎、米元元助、堀江和作（以上評議員）渡邊萬治、南部京平、內藤氏雄、末吉定十、角田朝治（以上選出）

而して右委員は十九日午後三時より郡廳內に參集後任者選定に關する協議をなしたり（大田）

人參王 京城本町壹丁目 電話一四八〇番 一八七〇番 ㋡津村兄弟商會

# 釜山と遊興稅
## 寧ろ土地の者は歡迎

釜山府大正九年度豫算は水道消防下水費其他傳染病院其他に關し支出增加の額に達すべく加ふるに諸經常費膨脹するを以て其財源に苦心中なるものゝ如きが結局新財源を以て之に充つるに至るべく府當局にては適當なる新財源の捻出に苦心中なり目下の處確實に府尹腹案中の新財源と稱さるゝは遊興稅にて各方面に於ても別段の反對なき如く開港場の性質として寧ろ遊興稅を歡迎せんとするの傾向あり結局起稅を見るに至るべく其の總額は四五萬圓內外なるべし（釜山）

# 釜山は猶ほ休校
## 更に一週間の延期

釜山に於ける流感は益々猖獗を極め市中各戶一人宛位は冒され居らざるはなく旣報の如く各校共休校をなし其經過を見つゝあるが釜山中學校の如きは二十一日を以て休校期滿ちたれども尙更に一週間を延期し來る廿七日迄休校をなす事とせり（釜山）

# 匹平街通信

十日四平街[illegible]ありて盛會なりき因に[illegible]女は[illegible]

[illegible]武道始めを催し[illegible]京城より來りて公學堂の[illegible]

[illegible]天支店長更迭は曩に發表の如くなるが後任店長堀氏は十四日[illegible]目下事務引繼中是が爲め[illegible]

[illegible]て海路東上の豫定なりと

[illegible]十四日大連發哈爾賓丸に[illegible]

[illegible]五十九叺、二等四千六百三十二叺、三等二萬八千七百九十八叺不合格一叺なりと（光州）

**聖日會講演**（安東縣）

[illegible]に關する講演に次ぎ[illegible]の輪の抽籤あり當籤者は[illegible]あり午後四時頃散會せり當日の[illegible]

[illegible]に目覺ましき活動を見るに由なく木高は免れざる處なり木材界の[illegible]

# 伊達騷動
小金井芦洲講演

第百二十席

**安藝下屋敷伺ひ**

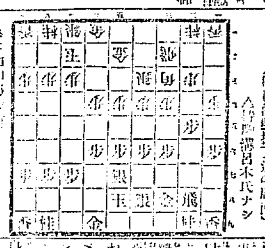
さて時刻は最早八ツ半時（四時）頃明石から濱松町金杉、本芝、田町、高輪通り袖ヶ崎の御下屋敷へ[illegible]玄關へ懸る、取次の者が罷り出で、安藝『拙者昨日國表より着今朝幼君へ拜謁を濟せ取敢ず御隱居樣御機嫌伺ひとして罷り出でました宜敷く……』取『暫く御控へを……』取次の者が奥へ這入ると入違つて御隱居附の老臣濱田玄蕃と云ふ人が罷り出で 玄『是は〳〵[illegible]殿御出府とは聞き及んで居りましたが能うこそ御早やう[illegible]至極に存じます 安『是は〳〵濱田氏貴公は當時御隱居附で 玄『左樣當時は御下屋敷を相勤めます 安『夫は又一段と御苦勞に存ずる』と云つたが安藝老人聊かも油斷はせぬ、此の濱田玄蕃と云ふ者は原田甲斐とは從兄弟同士八千石の高取りです、斯う云ふ人物を御隱居附として置くのは御隱居を粗略に仕ない樣にと表面は至極行屆いた樣に見せかけて、內實は綱宗公を生かして置いては困るから油斷を見濟まして密に毒殺をするか暗殺を仕樣と云ふ巧なのだ、其外御隱居附に一人も滿足な者はないのです、一向役に立たぬ老い朽ちた者許り、早くも安藝は變だなと察したが色には現さず 安『何しろ拙者大公儀へ著届を致すと寸暇も御座らぬに由つて、自然御隱居の御機嫌を伺ふ事も出來申さぬ故、今日參殿した次第、依つて御隱居樣に鳥渡申し上げ下さるやうに……』玄蕃は安藝の顏を眺めてホッと長嘆息を洩らして 玄『誠に御氣の毒千萬の儀で御座るが迚も今日は御待には相成るまい 安『何か御支へでも……』 玄『實は御酒[illegible]殘念な次第ながら先君の御行跡に御隱居遊ばしましてよりは以前に倍して晝夜御酒を召上り給ひ、御大酒の爲に御顏の色艶は荒蕪にならせられ些細な事にイラ〳〵遊ばし、些細なき事に近下を御手討に遊ばし、障子襖をズタ〳〵に切り給ひ、御手廻りの御道具を微塵に打碎き狂ひ給ふ御樣子は御本心ではなき樣で、取分け今日は三日三夜の召上り續け、最前酔ひ倒れて御仕舞遊ばしたばかり迚も今晩や明日位は御目覺めも御座りますまい、假令御目が醒めました處が當老だか拙者だか御見分けのある氣遣ひはござりません、左樣の始末故到底御目通りはござりません、御繁忙の御身の上御歸り遊ばすが宜敷く御座らう 安『ナニ夫りや當時も矢張御酒を召上がりまして…… 玄『イヤ召上る所では御座りませぬ浴びて被居しやる位で……』安藝は暫らく返答もなく小首を傾け心の中にハテ不思議の事も有るもの、最前松前鐵之助殿の申すには御酒一滴も召上らず、御行狀改まり給ひ和漢の學を好ませられ且つ畫を描かれ刀を鍛へる事を御嗜み遊ばし御自作の小刀を松前へ賜はりし現在刀まで見て來たものを、偖は惡人原田甲斐の計らひにて我等御目に掛らば種々のお話しもあり、彼等の積惡[illegible]の端緒と存じ、一味の濱田玄蕃と談合の上御隱居と我等の間を割かうと云ふ巧よな、と差俯向いて居たりしが 安『アー左樣な事とは一向拙者は[illegible]ひも寄らず[illegible]の評判には[illegible]とは大いに違はせられ、種々なる風聞を御存じと承はりしに…… 玄『イヤ餘り世間へ出ません公儀に聞えましても[illegible]の恥辱と存じまして、諸役人申合して御行狀改まりと繕つて置きましたので御座る 安『然し如何に御酒の爲めにても御幼少より[illegible]の私を[illegible]懇かつて參り度く且つ拙者は國表よりの御召人なと申して御目に懸かる積もりも御座らぬから御目醒まで御待ち受け申さう

名刺 京城 太平堂 電話一五二一番 振替京城一三六七番

# 將棋新手合（二）

於京城黃金町三丁目 講習木將棋所電話二〇二八

角落 番六段 へ溝呂木光治（京城）
三段 へ龜山雄次郎（釜山）
（圖は[illegible]迄の局面）
入評 溝呂木氏ナシ



△四七玉▲八二玉△二七金[illegible]△六八金[illegible]△七六歩[illegible]九四歩[illegible]九六歩[illegible]

（八）七二金の處[illegible]此處二二飛と振りて上手方の[illegible]

# 一月廿一日

（舊十二月一日）[illegible]

▼六白 [illegible]
▼七赤 ▲我意は謹むべし[illegible]
▼八白 [illegible]
▼九紫 ▲[illegible]
▼一白 ▲騒つたり叶つたりの日、殊に心願を籠むるに宜しき日
▼二黑 ▲野心に對する報酬は必ずあるべし
▼三碧 ▲和衛に流れ易き日なり
▼四綠 ▲心の焦らくする日也
▲五黃 ▲吉祥の日、正しきことは何なりと爲して利ある日なり

呉服 [illegible] 京城 蒲團 京城本町三丁目 くるぎ屋

# 德島縣人に謹告

今回德島縣人懇話會開催相成候に就ては御出席被下度此段謹告候
一、期日 一月二十五日午後三時
一、會場 京城俱樂部（南大門通）
一、會費 金貳圓 當日御持參ノ事
一、申込期日 一月二十三日限リ
一、申込所 京城本町一丁目[illegible] 原金物店（電話[illegible]）[illegible]話八三八番
發起人（次第不同）
井上寬太郎 藤原助太郎 大島正雄 [illegible] 岡島一介 松下幸治 淺見美代治 牛田清三郎 久米邦藏 佐野源四郎 [illegible] 小川熊太郎 篠原完二郎

# ◎育兒の心得
## 便の狀態と熱に注意して手當を怠らざれば小供はらく〳〵育つ

小供は玻璃の器を抱くやうなもので長子は育ためぬと云ふ位大事なものです。されば急に病氣の時には必ず小兒專門の醫師に診せるのが肝心ですが平常の心得は

**▲便の色と熱** とを絶えず注意して、少しでも異常の時は直ちに手當をしなくてはなりません。便の色と腸の故障は[illegible]分り、熱は內臓のドコかに病氣がある事が知れます。此の二つは一番大切な事です。[illegible]

**▲安全に治せ** 大人の病氣なれば少し位ひ强い藥を用ひても差支へないが小兒はさうは行かない。故に小兒の[illegible]常に安全な專門藥を用ひて居るのが始終[illegible]

[illegible]らば直ぐに藥を服ませる樣にしすやうにしなければなりません[illegible]西洋婦人は育兒用の常識がありますが、日本には未だ之れに該當る理想藥がありませんでした。[illegible]

**▲母親** [illegible]

小兒のくすり 寶丸は 小兒の 虫氣、疳、便の色ワルキ時、乳はく時に用ひよ

世界で一番よいミルクはこれ
全國到る處の茶屋店 食料品店に販賣す

痔疾專門 京城久枝肛門病院 京城明治町二丁目（本町より入る中央）電話二一〇二番

外科内科 皮膚科 徽毒科 島崎病院 京城旭町一丁目 電話一七三六番 院長正六位勳四等 島崎[illegible] 入院隨時普通及隔離病室

▽疾病の根治と健康の增進を望む人に△
オキシデアテルミー OXYDIATHERMIE 酸素透熱療器
本器は獨逸專門家富士[illegible]學士の發明にして而も同種類の他器に比し効力顯著なる事實は忽ち識者間に認められ各地病院に於て入院患者治療用に盛に本器を使用せられ日及樋口、[illegible]、橋本、酒井、唐澤、平山、佐々木諸博士を始め多數の醫學專門大家より本器の偉大なる効力ある事實を證せられたり特に數年の難病痼疾に苦む人多年藥用効なき難治の病者に本器を薦む
▲本器の特長 効力永久不變機械代以外に費用を要せず使用簡便
特價金參拾圓也
實驗說明書進呈
發賣元 京城黃金町三丁目 山陽電氣商會 電話一四二五番、振替京城四五二八番
同 市內特約販賣店 明治町通り 加藤電氣商會 長谷川町 合資會社日置商會 本町一丁目 越田電氣商會
地方特約店募集

眞價愈々醫界に認めらる!!
虛弱者衰弱者精神過勞者に眞に價値ある滋養强壯劑 レグモン を推奬す
レグモンは京都醫科大學教授森島醫學博士より推奬せられ知名醫家多數の實驗を經たる優秀滋養强壯劑にして病中病後の衰弱、恢復期、虛弱者殊に肺結核腸室扶斯慢性胃腸病者、糖尿病者、等の滋養劑として好評を有す。
百瓦入一[illegible]二百瓦入[illegible]四百瓦入[illegible]（說明書郵呈）
發賣元 大阪市東區道修町 武田長兵衛商店

◎御心配御無用！ 婦人病に喜谷の實母散!! さらりと癒つて夢の樣
寶母散 喜谷
主治効能 ▲血の道 ▲子宮の病 ▲こしけ ▲白帶赤帶 ▲足腰冷込 ▲下腹痛み ▲產前產後 ▲氣ふさぎ ▲流產 ▲逆上頭痛 ▲經閉腹痛 ▲月經不順
定價表
壹貼 貳拾錢 送料 三錢
參貼 五拾五錢 送料 三錢
七貼 壹圓廿五錢 送料 三錢
拾四貼 貳圓參拾錢 送料 六錢
廿一貼 五圓 送料 十二錢
◎偽物あり御求めの際は喜谷實母散と御名指願上候
本舖 東京市京橋區大鋸町 喜谷市郎右衛門 電話京橋五五番・五六番 振替口座 東京三五四番

京城代理店 京城日報代理部

流行性感冒豫防ト オキシフル（純良過酸化水素水）
流行性感冒豫防上、十倍に稀釋したるオキシフル含嗽の有效、適切なるは多數醫學者並に衞生當路者の極力唱導されつゝある事實に徵して明かなり。（各地有名藥舖にて販賣す）
種類 壹瓶四オンス入金四十五錢壹磅入金九十五錢の二種あり
文獻贈呈
三共株式會社 本社 東京市日本橋室町 出張所 大阪市平野町東詰

十五日會ける吾人は此の計畫を […] 會の由 […] は非らず […] と思惟す、其の以前は邦人民間 […] 大正七年十二月を以て赤 […] 指名により開設されたり […] 然たる議證に出で鮮人會を日本人會より切り放し獨立したる立 […] 如く進歩したる會を創立せしは、此の際は吾人は日支親善を將來の向上發展を期し得べきやを認めざるにあらず然れども然れば素より鮮人の責任、邦人の朝鮮乃至鮮人研究は極めて […] 此研究足らざりし結果は種々に於て […] なりしなり

# 金利暴落

大阪金利は十九日暴落し翌日物ひコール七、八厘無條件一錢一厘見當なる可し（大阪電報）

# 銀塊崩落

銀塊又々暴落七七ペンス四分の一となりたり原因は米國大賣出しに依るならん（大阪電報）

# 現物仲買人

新設すべき京城現物市場の仲買人につき現在の現株店主中その希望を有し齋藤代町本藤次郎氏を訪うて陳情する向もありとの事なるが右につき町本氏の意向を聞くに現物市場の許可あるものとして仲買人たる希望を現在の業者より致さるゝは至當の事なるべし唯その許否の權は總督府にあり市場としては相當現在營業者の地位を尊重するも唯その希望を聽き成るべくその意に副ふべしと云ふ以外何等目下の所答へ得ざる譯なりと

# 財界閑話

生絲も製絲業者の理想値たる四千圓突破の相場が出た、二千圓臺に上つたとて市場を驚かしたのは去年の春であつたがエライ勢ひである▲何しろ大戰成金國たる米國の生絲需要は盛んなものらしく今日では絹は贅澤品でなく早い話が靴下などにまで盛んに使ふさうでその需要は高値を厭はず無限らしい▲更に小成金國たる吾國の生絲の需要乃ち地遣ひ絲の氣が絹織物の需要を増進さし消費も非常に殖ねてゐる、一般生活の向上地方農村の好景氣たのである▲一方日本生絲の生産力は此の所著しく出るまで餘力多からずと云ふから目下先高いかも知れぬ絹物は中々著れなくなつた▲此勢で見ては今年の朝鮮の養蠶も餘程盛んであらう養蠶家の收益も多いであらう地方農村は益々富むと云ふ譯だ▲京銀專務古城君が朝鮮人の事を惡罵したと云ふ噂あり鮮人有力者間に物議を惹起して居た▲右の噂に對し漢銀の韓專務は一古城君の爲に内鮮人間の感情を阻隔しては不可ぬと云ふ見地より兩三日前内鮮人有力者を自邸に招待融和の爲め宴を張つたが古城君は一向云はぬ事を云つたやうに傳へられたのだと分り結局笑ひ乍ら分れたさうな▲こんな所に鮮君の目先は素早く利くやうだ

○殖鐵株券出來期　西鮮殖産鐵道株式會社株券は目下大阪に於て印刷を急がしめ居れるも遠かし運込等に案外の時日を要する由にて來月末ならでは出來せざるべしと

○鮮銀券月報　十七日現在左の如し

| | |
|---|---|
| 發行高 | 一五一、四六四、〇六八 |
| 正貨準備 | 五三、五四八、七一〇 |
| 保證發行 | 四七、九一五、三五八 |

# 商況

## 株式

### 東京現株特電

○二十日中値 ▲騰貴 △下落

| | 拂込 | 時價 |
|---|---|---|
| 紡酒 | 一〇・〇〇 | 一五〇、〇〇 |
| 郵銀 | 一〇・〇〇 | 一四九、五〇 |
| 同新 | 一〇・〇〇 | |
| 東拓 | 三〇・〇〇 | ▲一三〇、五〇 |
| 一新 | 一三・五〇 | |
| 二新 | 一三・五〇 | |
| 殖銀 | 一五・〇〇 | |
| 東亞 | 一二・五〇 | |

### 東京株式至急電報

●二十日第一立會 前電比較

| | | |
|---|---|---|
| 東株 | 五〇四、一〇 | |
| 商船 | 五〇七、〇〇 | |
| 滿鐵 | 一八六、六〇 | |
| 一新 | 一七八、七〇 | |
| 二新 | 一四二、四〇 | |

### 大阪株式至急電報

| | 十九日後場大引 | 二十日前場寄付 |
|---|---|---|
| 大株 | 四六四、九〇 | 四六〇、六〇 |
| 同新 | 四六五、五〇 | 四六三、四〇 |
| 郵船 | 二四九、〇〇 | 二四六、〇〇 |
| 同新 | 一三九、九〇 | 一三九、一〇 |
| 商船 | 一七五、二〇 | 一七五、〇〇 |
| 同新 | 一七二、一〇 | 一七〇、〇〇 |
| 鐘紡 | 四九〇、一〇 | 四八二、〇〇 |
| 同新 | 四七九、九〇 | 四九〇、〇〇 |
| 東紡 | 三三六、九〇 | 三二五、〇〇 |
| 東鋼 | 一九八、一〇 | 二〇一、九〇 |
| 當米 | 二二〇、五〇 | 二二〇、〇〇 |
| 上取 | 二二四、〇〇 | 二二一、五〇 |

### 安東現株特電

○十九日（續騰）

| | 當限 | 先物 |
|---|---|---|
| 安東信託 寄 | 四〇、〇〇 | 三九、五〇 |
| 止 | 三九、〇〇 | 三九、〇〇 |
| 錢證 寄 | 四四、〇〇 | 四五、〇〇 |
| 止 | 四四、五〇 | 四四、〇〇 |
| ▲當限出來高 | 一四六〇枚 | |
| ▲先限出來高 | 九〇〇枚 | |
| ▲當限出來高 | 一二〇枚 | |
| ▲先限出來高 | 三六〇枚 | |

### 京城現株 標準値段

▲印騰貴 △印下落

| | 拂込額 | 時價 |
|---|---|---|
| 仁取 | 二五・〇〇 | （二）九一、〇〇 |
| 朝郵 | 一五・〇〇 | 四一、〇〇 |
| 電興 | 三〇・〇〇 | 二六、五〇 |
| 皮革 | 一二・五〇 | 二五、五〇 |
| 東畜 | 一二・五〇 | 一五、〇〇 |
| 朝紡 | 一二・五〇 | 三八、〇〇 |
| 朝紙 | 一二・五〇 | 三九、〇〇 |
| 西銀 | 二五・〇〇 | 五九、〇〇 |
| 同新 | 一二・五〇 | 二〇、〇〇 |
| 商毛 | 一二・五〇 | 四八、〇〇 |
| 滿糖 | 一二・五〇 | 四八、〇〇 |
| 朝煙 | 四〇・〇〇 | 三八、〇〇 |
| 鮮土 | 一二・五〇 | 一七、〇〇 |
| 東亞 | 二五・〇〇 | 九七、〇〇 |
| 同新 | 一二・五〇 | △三九、五〇 |
| 森鐵 | 九・〇〇 | 六五、五〇 |
| 中鐵 | 一五・〇〇 | 一五、五〇 |
| 殖鐵 | 一二・五〇 | 一五、五〇 |
| 朝日 | 一二・五〇 | 一三、五〇 |
| 安信 | 一二・五〇 | 四〇、〇〇 |
| 錢證 | 一二・五〇 | 四四、〇〇 |
| 京銀 | 一〇・〇〇 | 二四、〇〇 |

### 東京現株別電

十九日正午値段

東株四八五、〇〇▲滿鐵二新一四六、〇〇▲郵船一四三、〇〇▲商船一七八、〇〇▲鐘紡四八〇、〇〇▲東拓一新八〇、〇〇▲糖一七八、〇〇▲朝鮮銀行新二五〇、〇〇▲朝紡三九、〇〇（二和商店入電）鮮銀新二四九、〇〇▲殖銀二二九、〇〇▲殖銀二、〇〇▲東拓一新八一、五〇▲同二新四一、五〇▲朝紡三七、五〇▲滿糖四九、〇〇▲滿鐵二新一四六、〇〇▲

### 定期當限値段

朝紙三七、五〇（新田商店入電）東株四八九、五〇▲郵船新一三七、〇〇▲東汽新四一、七〇▲商船新一五九、〇〇（十九日古開商店入電）

### 京城現株市況

今朝の市況は引續き内地安を受けて商内引立たず仁取の如きも

# 商狀區々

商狀區々にして昨日百九十二圓迄の高値手合に對して一方八十七八圓處の出合ひあるが相對の手次第に依りて出來値の差額甚しく從つて標準値段を定むるに困難なるが斯くの如き奇現象は免れざるべきか昨午後より今朝に亘る間は公定市場の出現せざる手合平均値左の如し

| | | |
|---|---|---|
| 朝鮮紡織 | 三八、五〇 | 二九、〇〇 |
| 朝日紡織 | 二四、〇〇 | 三〇、〇〇 |
| 中華企業 | 六〇、〇〇 | 一〇、〇〇 |
| 殖産銀行 | 二八、五〇 | 二〇、五〇 |
| 滿蒙毛織 | 四九、五〇 | 一〇、七〇 |
| 朝鮮電興 | 一六、五〇 | 二〇、〇〇 |
| 朝鮮銀行 | 二五、四〇 | 一〇、〇〇 |
| 同 新 | 二五、三〇 | 一八、〇〇 |
| 朝鮮製紙 | 四〇、〇〇 | 三〇、〇〇 |
| 東亞新 | 三九、五〇 | 二〇、〇〇 |
| 東拓一新 | 八一、〇〇 | 五五、〇〇 |
| 滿洲錢證 | 四一、〇〇 | 五二、〇〇 |
| 南滿製糖 | 四八、五〇 | 五、〇〇 |
| 安東信託 | 四〇、〇〇 | 七、〇〇 |
| 日本絹毛 | 八七、〇〇 | 一〇、〇〇 |
| 仁川取引 | 三八、五〇 | 五〇、〇〇 |
| 西鮮殖鐵 | 一五、七〇 | 二〇、〇〇 |

現株賣買 京城永樂町二丁目 山六商會 （電話長一八一六 二六二番 振替京城七一六二）

# 殖銀株立直る

殖産銀行株は昨入電百二十九圓と報じ茲仲惱みの姿なりしが今朝本社入電は百三十一錢方上向き稍氣直れ一圓五十錢を見せたり同株の三十圓以上は當地手持筋より久しく待たれつゝありし處なれば定めし利喰賣多かるべきか

# 電興人氣回復

昨年重役の爭執以來下押しを續けて危ふく拂込みをも賦込まんとしたる朝鮮電興株は越年以來漸次氣直り歩調となり最近の出來値は高値十六圓八十錢安くも十六圓を下らざる狀勢を呈し賣氣亦侮ざり難きものありて買氣人氣回復せるものゝ如し

# 仁取商内區々

仁取株は前日百九十二圓の商内と同時に八十七圓の手合もありて出來値一定せざるも買氣は依然旺盛にして押さば買はんとの機會待ちの姿なるが買物極めて少なきか如し

# 安東信託頭打

安東信託は前電四十二圓より昨電三十九圓と入れ三圓方の反落を演し茲頭打ちの模樣なるも押目買人氣潜在すると傳へらる

# 滿洲錢證小甘し

滿洲錢證は昨電四十四圓五十錢と入れ前電に比し一圓五十錢方の押目を見せたり

# 鐘紡暴落原因

鐘紡株は今朝入電に於いて多少引返し居れるも昨前場の三十圓方激落せし原因に就いて或は增資悲觀にあらずやと揣摩し置きしが右は果して事實なるが如く武藤專務は歸朝以來非增資の色彩を鮮明にして即ち一方の配當増加に伴ふ課税加重は全然さる事實なく寧ろ論者の税法に對する誤解ならんと說き第二の事業擴張資金税に對しては現在の狀態よりして無暴なる擴張は其の工場擴張の如きは別に資金の需要を見ず積立金にて充分なりと喝破したるに原因するが如し

公債株式 現物問屋 三和商店 京城南大門通三丁目 電話二三八・二三七

# 米況

### 東京期米特電

●二十日前場

| | | |
|---|---|---|
| 當限寄付 | 五十圓四十五錢 | |
| 中限寄付 | 五十圓六十三錢 | |
| ●二十日前場 寄付 | 五一、〇〇 | 日後場 |

### 大阪期米特電

●二十日前場

| | | |
|---|---|---|
| 當限寄付 | 五十圓三十五錢 | |
| 中限寄付 | 五十圓三十六錢 | |
| ●二十日前場 寄付 | 五〇、五〇 | …… |
| 高値 | …… | …… |
| 安値 | …… | …… |
| 止メ | 五〇、三五 | …… |

### 神戸期米特電

| | | |
|---|---|---|
| ●二十日前場 寄付 | 四九、九九 | …… |
| 高値 | …… | …… |
| 安値 | …… | …… |
| 止め | …… | …… |

### 下關期米特電

◎二十日前場（堅、底堅し）

| | 當限 | 中限 | 先限 |
|---|---|---|---|
| 寄付 | 五〇、六八 | …… | 五〇、三〇 |
| 高値 | 五〇、六〇 | …… | 五〇、四九 |
| 安値 | 五〇、五五 | …… | 五〇、四九 |
| 止め | 五〇、四四 | 五〇、二二 | 五〇、四〇 |

### 釜山正米特電

期米底强なるも當正米市場は買物可也にありて持合を告げ三等神力四十九圓五十錢穀良四十九圓七十錢にて三千九百個出來せり大豆は持合にて三四千個の手合せありたり（二十日釜山）

### 群山正米特電

當限末四十九圓二十五錢來月中七十錢末五十四十錢先三十錢現物四十九圓五十錢（二十日發）

### 仁川期米

二十日（前場一服）

前日後場は阪地高に促されて氣勢を改めし場面は今朝も大阪の寄電末着なるも當㊂の買ひに四十七圓四十錢と始め中出來ず先四十九圓五十四錢と打堅く寄付三四㊂に採合ひ㊈㊆力仝の賣りに㊈の買物も消化して四十八錢と頭重く引

▲第二節　當中出來ざるも先四十八錢よりヂリ〱安の三十九錢と下辷りせしが押目は㊂㊅の買物に四十八錢と引返し六七錢を持合ひ七錢と引

# 現株界總捲り（七）

## 丸二商會

此店の名義人は萩野君なるも實際の經營は安田幸吉君之れに當り居れり君は久しく齋藤製絲會社に在りて少壯事務家として知らる夙に椰井田村の諸氏に一任したる頃の丸二商會は小使事件頻發して同業者の信用を失墜したる事少からざりしが君が大阪増田ビルブローカーと特約を結び全力を傾注するに至りて信用亦回復の兆あり幸ひに奮闘せよ

# 仁川株界

仁川株界は兩々活氣を呈し田中現株店にては相當の取引行はれつゝあるが其内最も氣勢を昂めて買進んで來るは仁取株にして前日は百八十七八圓見當の唱へなりしが今朝は京城其他の景氣を移して一躍百九十圓より一圓迄で買氣を催し二百株計り商談纏りし有樣なるが現在の手持筋は第二回の拂込みを了し倚進んでは增資をさん等の噂させられ二百五十圓より三百圓を期待せる連中あれば大口の買物は更になく唯金融の關係より二三十株の小口物に過ぎざるが此の買物を有力者に吸集されんか此の儘にても漸騰は免れざるべしと

▲第三節　當出來不申中四十七圓五十錢先四十六錢より押目待ちの買物に九錢と上伸せしが大阪前前五十圓五十錢と氣乘薄を移し因㊂より小口の賣物現はれ四錢と弛み五錢持合に引

▲第四節　當中出來ず先四十七錢より八錢と上向き㊇の賣飛に六錢と焦付に引

▲第五節　當中更に出來ず先四十六錢より八錢と手堅かりしも大阪三節四十七錢氣重く移りに五錢と弛み六錢と閑散裡に打止めたり

電話本局 長 807 808 809 810 811 812 2345 4381 4382 4383 4384 4385
大阪株式取引所仲買人 松井慶三商店 大阪北濱一
定期部 現物部 信託部 調查部
▲營業案内書は御申越次第進呈仕候

# 商内閑散焦付

前日硬軟の活躍にて小口の前買を喚び五六十丁の騰落波瀾を演じ場面一入活氣を呈せしが今朝は阪地持合ひを移し五十五錢を高値に三十九錢と弱み四十錢に跳返して商内閑散裡に打止めしが場面の形勢は硬軟共に氣迷ひの光景なるが現今の正米より採算して買仕難く阪地は依然採算風情なり勞突込み踏崩し面軟派は鳥正の接近に出發を氣構へ既に弗々增加の傾向ありと雖も地手堅く先限の四十九圓は採算上賣に妙味なしとせる折柄丈けに今一段の高値あるや測り難く要するに當分一高一低を採返し限月の接近と阪地の成行きにより興味ある持合ひ岐れを演ずるに至るべし

# 各地手堅し

内地各市場共氣乘薄不味の歩調を報じ居れるも何となく下値淋しき模樣にて底意手堅く東京市場の吸集米も人氣の上には比較的利目薄く強弱の動靜より察すれば例に依つて月末高を演するにあらさるなきが殊に金利暴落の報もあり此機に乘じ或は硬派の再び跳梁するや知れざるべし

| 二十日前場 | | |
|---|---|---|
| 寄付 | 四九、五五 | |
| 止め | 四九、四六 | |
| 高値 | 四九、五五 | |
| 安値 | 四九、三九 | |

| ▲平均値段 | |
|---|---|
| 一節 | 四九、五二 |
| 二節 | 四九、四五 |
| 三節 | 四九、四七 |
| 四節 | 四九、四七 |
| 五節 | 四九、四六 |

| 今日出來高 | 十八萬九千七百石 |
|---|---|
| 帳入値段 | |
| 當限 | 四九、七〇 |
| 中限 | 四九、六〇 |
| 先限 | 四九、五〇 |

# 後場買氣旺盛

前場地場筋の買進みに阪地の氣乘薄も無頓著に氣丈三十五錢の安値止めを引跡大阪三十五錢の安値止めを移し當中出來ず先四十錢と不勢に始めたるが押目は買氣旺盛にて小口手詰めも消化し七十錢と反撥の儀引

▲第二節　當中出來ず先七十錢と同事に寄付㊂の手詰めに㊈の買添へもありて五十六錢と崩れ前手口の買直しに六十錢と手堅く引

# 市場雜觀

| 取組高 | |
|---|---|
| 當限 | 六千九百石 |
| 中限 | 一萬六千石 |
| 先限 | 三萬二千九百石 |

惡性感冒益々猖獗を極め死亡率又增加して自然米の消費額にも影響を與へる譯にて米界の人氣も季節と相俟ち此邊絕頂ならんとの觀測あるが異逆人を殺して迄米價安を望む者もあるまい殊に今日の生活狀態は依然贅澤に流れ滿鐵乘客の賃金一二等六七割三等二割以上の値上げをされたが矢張り二等の乘客が多いことは物價高を八釜敷云ふても夫丈の餘裕があるので殷

# 京城正米市場

京城若草町百六電話三〇壹壹番

昨小强き商狀なりし當地正米も定期の頭重き成行きと一値は精米筋の買控へに今朝は又復弱含みとなり地摺上五四十八圓八十錢見當に復したるが今天候の不良續きにて依然出殺抄々しからず眼先舊節季の出廻り期待ありながら眼前買物薄の爲め市況は更角底堅く模樣なるも當分著しき下げは望難き模樣なり

# 粟意底手堅し

滿洲粟は引續き持合ひ焦付の狀態なるも買物薄と弗々の買望みに市況手堅く今朝は小强き成行きに左の商内行はれたり錦州現物一車二十三圓四十錢▲四平街三四月物六車二十二圓五十錢▲同二月物六車二十二圓三十錢▲長春三四月五車二十二圓十錢▲鐵嶺三四月五車二十三圓十五錢▲錦州三四月三車二十三圓四十錢▲公主嶺一二月五車二十二圓二十錢▲營口解合一車二十三圓五十錢

# 大豆品薄昂騰

大豆は積雪と寒氣の障害を受け新規出廻り稀薄の折柄滿洲高値の關係上内地移出弗々引合ひに連れて買氣大に引立ち來り新鐵京小粒現物一車二十八圓二十錢新原州現物百三十一叺二十九圓四十五錢の外昨午後出來の分と四十錢の附出しありたるが今朝は十二圓二十錢高の九圓八十錢見當を唱へらるゝも買人非常に氣强く約三十圓以下にては應ぜざる振合ひあり

仁川米豆取引所仲買人 (布) 布井仲買店 電話 三三四番

# 仁川正米市場

此頃の正米市場は内地不買行きの爲め一般見送り勝にて更に取引行はれず至極閑散を呈し居れるが買人手控への割には底意存外に强硬を示し三等合格四十九圓二十錢地摺立米四十六圓見當を唱へ居れり大豆は弗々買氣

# 電話增設廣告

增設電話二二六三番

公債 株式 現物問屋 有價證券 信託業 西村商會

# 京城正米市場

京城若草町百六電話三〇壹壹番

# 大阪三品特電

●二十日前場

| | |
|---|---|
| 一月限 | 六二、三〇（?） |
| 二月限 | …… |
| 三月限 | …… |
| 四月限 | …… |
| 五月限 | 五八、〇、五〇 |
| 六月限 | …… |

# 綿糸落付模様

今前場の大阪三品入電は當限六十二圓三十圓九十錢先五百八十圓の小堅きにて前後止め當限入電の小堅きと反して先限小弱く大體に於て持合ひ落付の商狀を示し居れり

仁川米豆取引所仲買人 (キセン) 川坂倉仲買店 電話 六五三五〇番 …有價證券現物賣買…

# 粗布輕目物强硬

綿布中粗布三ニー票は過般來他品の不振なるに拘らず品薄と需要の多かりし關係上獨り跳騰を示し一般に騰貴せられ十四圓迄上りしが一般に期待せられた正月前の需要も天候不良の爲め各地在荷の潤澤に歳末の閑散期に入りしが茲高値當時の手放し殘りの處分物一掃せられたるこ新規の移入約定手控へ等にて不在荷次第に減退せしより永らく不割の採算を忍び來りし市中人氣も茲漸く轉換の機運に接せし勢ひの如く此兩三日來氣勢恢へんとする折柄の人氣に徒れ出しは又も輸出の機運に接し物高まりて三十八圓摺み仲惱みを續け來りしが一票は昨今三十九圓三五十錢より各縣共に約一圓五十錢方の急騰を演し從つて先物も一時に開渡しの三十一圓臺を呼ぶは丸に至れり

# 麥粉愈々高し

滿洲及上海粉の産地高と原料薄により漸騰歩調を辿りし麥粉は米價の强硬と相俟つて其後益々氣强く殊に滿洲に於ける小麥の凶作見込みと輸出禁止の發展は我か製粉中の人氣に少なからぬ影響を與へつゝあるも如く昨今の中市値は鰮の六圓七十錢乃至七十五錢を唱へ前報後更に二十錢内外の昂騰を演じたるが尙大手筋先物の建値として鰮六圓九十五錢双魚六圓四十五錢處なる由にて之より採算する時は今日の市價は尙上げ餘地ある有るものとせられ且つ市中在荷の大部分は大手に吸集せられ關係上手薄筋の買埋めある等にて眼先或は七圓の實現を見るべきかとの噂へもあり

# 砂糖俄然爆騰

昨冬來内地との採算上割安を擁はれ先高の觀念强かりし砂糖も期に入りしが漸く需要期も近くに在荷の潤澤に減退し折柄の出廻りて明に仕入の新規の輸入を以て高値を呼びし處暫らく前年十二月下旬以來の殘り少の處物を手控へ等にて殊に南洋の糖も入らず依然小賣筋の模樣に徒れ直稍不安を餘儀なくせしより在荷此上にに引立つの形勢と聞き中央の採算上に顧みるも百五十錢の騰貴を示せる卸賣商は内外の關係に見習して逸に十六圓七十錢内外と云ふ大手の手當て割合を氣配に從ひ二四十錢方の急騰を演し爾來漸く値を見せ先高の折れ手强く商狀

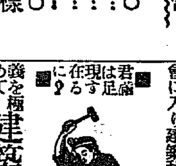
# 錫益々强調

錫は舊臘末以來六十圓内外の暴騰を告げたるも買方が之れに引替へ歩遞感を買ふ市中値二百十五圓を唱へらるゝに至りたるが鉛も阪地顏る强硬にて最近三圓方の引締まりを告げし由なれば當地も自然小强き成行きなり

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 (丸) 丸仲買店 電話長四〇四番 二〇番 電略（ア）又ハ（カチ）

# 建築技養成急

今や建築技師大缺乏 何人にても僅か一ヶ年短期の本會に入り建築科講義錄を卒業すれば建築學全般の奧の肩書を得て現場監督設計製圖等を得て高給を以て直ぐ採用され現業者に第二大募集中○見本付會則申込次第無代進呈す○此際の入學者には五大特典あり 東京九段下二十ノ三 帝國工業敎育會



君は現に足れる在る? 建築得業士

# 京日案内

番外 ▲古本熱心高價買入▲御報參上 ▲是非御試驗を乞ふ ▲本町二丁目 電話三一九五番 群書堂
普通 一回前金 拾錢 一回分 二十錢(以上)金壹圓 ▲六回以上の申込は特に割引の事 右申込は前金以外に取扱は致さず後程

# 電話讓る

讓受希望者は左記へ乞御來談 鍾路一ノ五五 ロンドン商會

# 診查醫招聘

希望者履歷書携帶本人來談 黃金町二丁目 大門通り 日本生命

# 內地人用

十七歲の强健なる者二名入用 本人來談あれ 旭町一ノ二 樂天堂製藥會社

# 金庫

最新形ペンキ式 東京製 各種金庫 京城太平通り二丁目 電話二〇七〇番 天野金次郎

# 古本高價買入

▲遠近多少不論御報參上▼ 京城本町二ノ五九 文光堂書店

# ほねつぎ

うちみくじき一切の治療御依頼に應ず 明治町 柔術道場

# 柳行李革鞄專門

タジマヤ 京城本町三丁目 電話長二四八二 但馬屋

# 毛皮なめし

並に仕立 鳥獸剥製標本調製 鳥類手羽買入 毛皮鳥毛賣買 京城本町二 電話長二〇六元五番

# 有給社員招聘

但内地人 希望者履歷書携帶本人來談 黃金町二丁目 電話三五六番 有隣生命

# 電話讓受度し

勸業債券高價買入 京城光化門通 電話六八〇番 坂本

# 簿記係入用

來望者は自筆履歷書を送附あれ 京城 某會社內 大島へ

# 乳母求む

男子三ヶ月 乳母希望者本人來談を乞ふ（姓名在社）

# 內外勤募集

內鮮人男女 希望者は履歷書携帶午前中來談 京城黃金町一ノ八電話五五七番 帝國生命保險株式會社

# 女中壹名急入用

京城明治町二丁目六四 藤田

# 乳母入用

（月女兒 午後三ヶ月）生まれ里に預け度し 京城太平通二ノ四五電話八一番 さらしな支店

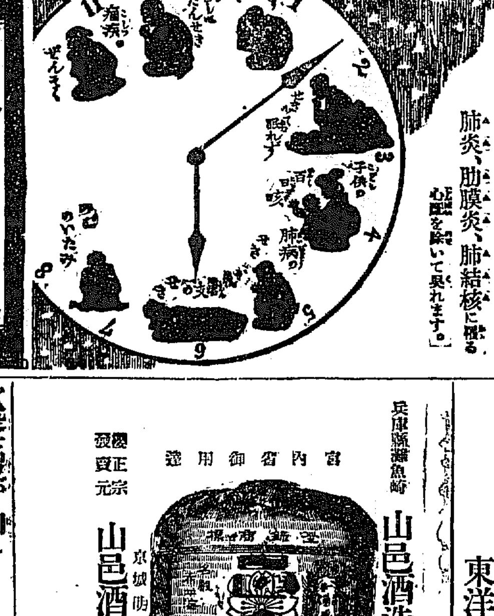
# 株

倍額增資決定有望ノ損補填ノ上分配當シ次期八分配當見込（年利約二割）ノ朝鮮新聞十株讓度（姓名在社）

たんせき ぜんそく

一夜こゝろみ藥！

寒さ嚴しい今日此頃、宵の內の氣心地が夜中になると呼吸せ立派に咽喉を腫してたんせきが頻りに出る。又喘ぜんそく の氣味のある人は益々重篤の病狀を現はす。こんな時一服の「龍角散」は一夜の中にたんせきを切りぜんそくをしづめ肺炎、肋膜炎、肺結核に罹る心配を除いて異れます。




發賣元 藤井得三郎商店

龍角散

龍角散の特長 龍角散は香味爽かにて服みよければ藥嫌ひの人、子供にも適し一服にて精神をハッキリ蘇生せしむる効あり

かゝる人は必ず試みよ

主治効能

◎たんにて常にコホンコホンと惱む人
◎ぜんそくにてゼイゼイ息切する人
◎せき頻に出でゝ夜中眠り兼る人
◎流行感冒より起るたんせきの人
◎肺病にて常に力なきせき出づる人
◎たん臭氣を帶び時々血の交る人
◎音聲のかれ又咽喉のいたむ人
◎百日せき又はしかせきの小兒

其他總て呼吸器疾患のたんせきは如何なる悪性も凡そ一二週分續けて服用ば其効力速かに顯はれます

定價 一三日分 一週分 二十錢 四十錢 一二週分 一月分 一圓 六十五錢 一圓卅錢

本舖 東京市神田區豐島町 藥劑師 藤井得三郎 電話神田二〇七八 振替東京九一一 番

全國各藥店にあり本舖へ直註文は郵券又は爲替及切手代用に願上候

海陸物產 委託賣買 兼貿易業 (東) 東洋商會 電略（ト）又ハ（さ）

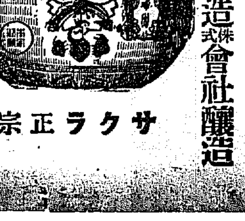
今般本商會ハ資本金二十五萬圓トシ合資會社ヲ許可申請中ノ處朝鮮會社令廢止ノ爲申請手續ヲ停止シ新法令明待中ニ候營業科目左ノ如シ 江湖倉彥御愛顧願上候 朝鮮咸鏡南道北青郡新昌港

# 株金拂込催告

一、第一新株式第參回拂込金 壹株ニ付 金拾貳圓五拾錢
一、第二新株式第壹回拂込金 壹株ニ付 金拾貳圓五拾錢
（但公募ニヨル株式ハ額面超過金ヲ同時ニ拂込ノ事）
一、拂込期限 大正八年十一月二十九日
右拂込未濟ノ向ハ本月三十日迄ニ遲延利息ヲ添ヘ直接當會社ヘ御拂込相成度商法第百五十二條、第二百十九條、第二百三十條第二項ニ依リ此段公告候也
大正九年一月十五日
東洋拓殖株式會社

兵庫縣灘魚崎 山邑酒造株式會社醸造

宮內省御用達



サクラ正宗

發賣元 櫻正宗 京城府蛤町二丁目 山邑酒造株式會社京城支店 電話長八四九番一四五四 振替貯金口座京城七五〇番

歡聲湧が如き

上沖之山炭礦株の提供

資本金參百五拾萬圓 第一回拂込

堅實有利如斯趣味ある炭礦株他に有之持ったら容易に手放さぬ好箇の世襲財產將來株式市場に人氣を博す可き絶好の投資物

理由）△公募大超過の盛況裡に締切たる上沖之山炭礦株は締切前早くも既に炭礦所在地方にて權利株三拾圓內外に賣買あり呼ふ一回拂込後は假令一株が百圓になつても賣らぬと云ふ好人氣より推して前途に如何なる相場を現はすか殆ど豫測する事が出來ぬ殊に附近炭礦株は昨年十一月八日の相場を現はしてゐる

| | 一株金 | 拂込の時價 |
|---|---|---|
| ◎沖之山炭礦 | 一株金貳百圓 | 貳萬七千五百圓 |
| ◎東見初炭礦 | 同 金貳百圓 | 同 六千五百圓 |
| ◎第二沖之山 | 同 金貳百圓 | 同 貳千九百圓 |
| ◎東沖之山炭礦 | 同 金百圓 | 同 五百圓 |
| ◎西沖之山炭礦 | 同 金貳百圓 | 同 九百圓 |
| ◎西見初炭礦 | 同 金百四拾圓 | 同 千五百五拾圓 |
| ◎鵜島炭礦 | 同 金五拾圓 | 同 三百貳拾圓 |

宇部炭田の諸炭礦株が斯の如く騰貴されるあしろては五ッ段炭採收の利益の大なるに依るもしれば此の斜坑が五ッ段炭の目的を以て二入なれば大礦を來す可く居層に著炭の日は市場の人氣沸騰株の所在地では今から如何なる相場を現すか相の理からぬ事であるから數百圓或は千圓以上を期待も知れぬのではある當店は持つて持つたら容易に手放さぬ從つ安値で提供する次第である特に知人の持株を讓受けたるに依り廉く左の如く

分讓價格 申込單位 拾株
一株金拾七圓五十錢（十二圓五十錢拂込濟）
申込證據金 壹株ニ付 金五圓
申込期間 賣切次第締切

要項 現物公債株式安全便法アル規定書申込次第進呈ス

大阪市西區靱上通貳丁目 大阪證券取引合名會社 電話土佐堀一八一番 振替大阪四五九三番

資本金 貳千貳百七拾萬圓
積立金 壹千六百貳拾萬圓
總預金 參億五千萬圓

株式會社 第一銀行京城支店 京城本町一丁目 振替貯金京城一一一番 電話三一一番・六三〇番

頭取 佐々木勇之助
支配人 竹村利三郎

# 夜の蜘蛛

江見水蔭

「七十八」 挿畫 近藤紫雲

曙樓の離れ座敷では、水上顯之と龍子とで、どの位淀子の來るのを待つたか知れなかつた。それが併し差向ひでは龍子が嘸窮屈がるだらうと思つて、顯之は氣を利かして、鑛泉に入浴なごしに行つて時を過ごしたが未だ來ない。

斯成ると龍子としては疑念をさへ生ぜずにはゐられなく成る姉が來るなんぞと云つて僞つて或は此處まで誘ひ出して……然ういふ風に氣が廻らぬでも無かつた。

其時は。何處から何うして逃げ出したものかなんど、危險の迫つて來た頃合まで考へてゐた其處へ、漸く女中の案内で、お連れ樣といふ聲と共に來た。カルメン小糸の淀子で有つた。髮も亂れ、顏色も惡い。

淀子と顯之とは今朝同じ家を出たのだから問題は無い。淀子と龍子とは何年振かで逢つたのだから、どちらからも。

『まア、龍ちゃん』

『まア姉さん』

互の眼には早や感情の露が宿つた。

一ツ火鉢に手の出せる様に並んで坐つた猶も互に顏を見合せてゐる、人目が無かつたら抱合つて泣き入つたかも知れぬ位。

『や、姉妹さは云ひながら、斯うして並べて見ると、矢張克く似てゐるね』と顯之は云つた。

『本統に參うで御在ますね、姿は同じ方かと思ひましたわ』と女中が何も知らぬながら口を出す位。

『さア之れで揃つたのだから、何か美味い物を持つて來てお吳れ、それも併し、そんなに急がなくツても好いのだよ』

斯う云つて顯之は女中を追拂つた。

『まア如何して這んなに遲れたの』と顯之は問ひ掛けた。

『最少し早く上れたのでしたが此所の前まで來て、大變な目に遭ひました。ダムダム彈次に捕まつたものですから……』と淀子は殘らず先刻の出來事を語り其所まで濱といふ大學生に送られて來た事を述べた。

『惡い奴に見附つたものだね、其彈次は、此處に我々が集まつた事を知つて、歸りを待ち伏せしてゐると困るが……』と顯之は心配した。

『それは濱さんが警戒して下さる筈ですが……猶好く氣を著けなければ成りませんです』と淀子は云つた。

『然うだ。此家は、出口が三筋所も有るから、待伏せしてゐない方の口から出て、自動車を利用して、意外な方面から東京へ歸れば好い。さア其方はそれで好いとして、さア姉妹で、絶て久しき對面なんだから、此處で積る話をしたら好いだらう……もつとも淀子さんが僕の處へ[illegible]として入込んだ事に就ては、大略此處で話したのだから……改心後の淀子さんは、龍子さんに、能く家の事情を聞いて、其上で、妹さんから詫を入れて貰つて、兩親に早く對面したら好いでせう。最も淀子さんが改心したといふ事に就ては、何處までも私が保證に立つから……』と顯之は中間で云つた。

『本統に龍ちゃんに濟まなかつた。御兩親には猶更濟みませんでした。ですが、既う今度から心を入れ替へて、今までの埋合せに出來る限り孝行を盡しますわ』と淀子が眞實の聲を此處で絞つた。

『御兩親と仰有るけれど……』と龍子は云つて、又新しき涙に咽び出した。

神經過敏に成つて居る淀子は既う氣に成つて。

『御兩親が如何かして……』

『では、矢張り姉さんは、新聞記事には氣が著かなくツて、何にも御存じ無いのですね』

龍子は然う云つて涙を手巾で押へた。

## 仁川を騷した爆藥犯人 不逞鮮人とは關係無し

昨年十一月四日仁川新花水里所在三井物産會社火藥庫よりダイナマイト六箱を取出し内五百本入一箱を竊取したる犯人あり

**時局柄** 不逞鮮人の犯行にあらずやと非常なる恐慌を來したるが仁川警察署の敏捷なる活動により十二月廿八日犯人一名及贓物藏匿者一名を逮捕するに至れり犯人茨城縣北相馬郡森谷町百九十八番地當時日本醬油會社仁川支店員渡來庄吉(二七)及び贓物藏匿者として仁川府公林里百四十七番地日本醬油會社職李福來(三〇)なる者を

**檢擧取** 調べの結果他の共犯者は内地人某なる事判明したれども目下行方不明に付極力捜査中なり前記二名は一月十二日京城地方法院仁川支廳檢事局に送られたるが犯行發見に付いては十一月五日午後五時頃支那人某が火藥庫外鐵條網下にダイナマイト二箱を放棄しありたるを發見直ちに番人池田定吉に告げ知らせたるものなり然して犯罪捜査は

**朝日煙** 草の吸殼より内地人たるの端緒を得たるもの如く偶々支那人間に前記渡來及び某の所爲なる如き風聞あり仁川署は此に手蔓を得て活躍したる結果遂に與犯人を逮捕するに至れり犯罪實況につき渡來の陳述に依れば某と共謀の上昨年十一月四日午後十一時三十分頃前記場所の火藥庫に至り渡來は同庫の東南

**松林中** に見張をなし某は火藥庫土塀に登り無看守なるを確かむるや豫て用意したる短刀及び洋釘五六寸のもの二本を所持し柵内に忍び入り最初は第一火藥庫の鎖鑰を該洋釘を以て破壞し庫内に侵入したるも目的とする火藥なかりしかば更に第二庫に手を延したるも之亦目的物なく更に第三庫に至り第一と同一

**鎖鑰を** 破り侵入同庫格納の五百發入ダイナマイト六箱を柵外に持出し兩名にて内四箱を海岸濱下に運び某は短刀及び洋釘にて一箱を破壞したるにダイナマイト五十發宛ボール箱六に納めありたれば某はボール箱六箱を風呂敷に包み渡來は醬油袋に四箱を收め他は放棄したる儘前記松林里居住李福來方に到り

**情を明** して隱匿方を依賴せるを李は同家溫突に二日間隱し居たるものなりしが六日夕渡來及某は各方に到り該ダイナマイト五百發を木箱に收め同家を立ち去りたるが七日某は渡來より金三圓を受け何れにか所在を晦まし今日に至れるものなりと一方渡來及び李は犯行後大膽にも平素の如く醬油會社に通勤中を十二月廿八日仁川署の手に逮捕されたる者にして當時の

**目的は** 取出したる六箱共竊取不正漁業者に密賣せんと企てなりしも恐慌を感じ五箱は放棄し僅に一箱を竊取したるものなりと其後に至り盗品と發見のなりし櫻印ダイナマイトを釜山牧の島に放棄しありたるを發見したれば之に依り其行方に付大なる手蔓を得たるもの、因に犯人某は昨年七月頃渡鮮し該火藥庫堤防修理人夫として從事したる事ありて庫内の事情に通じ居れる者なりと

## 投書の領分

▲十二月二十日讀者の領分中にある韻山和田生に御目にかかりたし社内鵲苑一報ありたし▲小學教師の檢定試驗をうけますのにはその試驗科目と程度は如何ですか御存じの御方はどうぞ委しく御知らせ下さいませんでせうか(希望者)▲よき舊寫眞機械の古物あります故何卒住所氏名紙上に御知らせ下さいませ(若草町菜)▲妾は一昨年過りて石を足の上に落しましたが其後毎年其所が定つてシモヤケになり破けて苦しんで居るのですがどなた樣かその破れシモヤケの療治方法御存じの御方は紙上まで御知らせ下さいませ(シモヤケ女)▲御社の和歌欄には愛讀者は誰でも投書する事が出來るので御座いますか又其の他の規則が御座いましたら讀者の領分で御知せ下さいませ御願ひ致します(一少女より)▲どなたでも投書は御自由です詠草は一回十首以内宇體明瞭に認め住所姓名明記の事但し紙上に匿名は御勝手です(かゝり)▲高女卒業後小學校に奉職した事のある女ですが京龍間か永登浦で幼稚園の保姆等にお用ひ下さる所はございませんでせうか(愛讀女)


◉アッ絶世の粋美人!!! 見れば見る程可愛ゆ〜てく〜たまらぬ(非賣品)

夜の樂み 天下一品

祕珍美人畫六十四枚 入艶麗無比寫眞上製箱入頗る美本同好者に限り密送料共三圓(切手代用三圓六十錢)

究の疲れを休むる夜の樂みはどうすればよいか、金を使はずに出來る樂みは本書に限る、ドンナ處所でも人を煩はさず誰にも出來る恐らく之程輕便で安價で手取り早く樂みの出來るものはない先づ一本を

◉注意 本品は非賣品に付賣切後は絶版 ◉東京神田區西小川町 ◉振替東京二一七六四 天美堂

たんせきで困る人はぜひこの藥をのんで御覧 どんな重いたんせきでもきっと治ります 又藥ぎらいな小供でもあまい水藥ですから喜んでのみます

治咳の水藥 眞咳液

定價 二日分金參拾錢・五日分金五拾錢 八日分金八拾錢・十五日分金壹圓廿錢 どこの藥店でも販賣して居ります

發賣元 大阪市北區相生町 大島壹盛堂藥局 電話東四五七七番 振替大阪五一貳七番

# 美人萬能

氏無うて玉の輿

美人でさへあれば一身の榮達思ふがまゝです。青春の男子よりは言ふまでもなく如何なる人々からも敬せられ愛されて一生幸福に終ることが出來ますから僅の時間で美しいお化粧の出來る本品を是非御常用遊ばせ

天性の白さを現はし美人となる

理想的薄化粧料

# ホーカーパット

年始の贈答品として優れて居る點の三つ

上品で體裁のよいこと—が先方へ非常に快よい感じを與へ贈り物としての第一條件を完全に備へて居ます

何誰にも喜ばれること—が又贈り物の大切な條件ですが本品は男女老幼何誰にも必要な化粧料です

携帯や發送に便利なこと—ホーカーパットを箱入にしたものは携帯にも便利で發送にも面倒がありません

全國到る處の化粧品店、雜貨店、小間物店、藥店等にあり、若し品切の節は振替又は切手代用直接本舖へ御注文あれ

定價 一瓶三十錢、送料內地六錢、鮮滿四十錢

ホーカーパット ホーカー液 ホーカー白粉 ホーカー美髮液

東京神田和泉橋際柳原河岸 本舖 堀越嘉太郎商店

電話神田一三四・一四四・一四五・振替口座東京一五六

特に本邦人の皮膚毛髮に適すべく精製されたる

# ◎ミツワ石鹸

本邦人の整容美髮に好適の理想的石鹸

ミツワ石鹸は國産石鹸各種の中に於て、拔群の販額を占め、單に石鹸と云へば、ミツワ石鹸を意味することになつてゐるが、此理由は本品が特に本邦人の皮膚毛髮の洗滌に適當して、整容美髮の目的に叶ふやうに、製造に苦心されてゐるからである、斯く本邦人の皮膚毛髮を對象として、精製された石鹸は、ミツワ石鹸以外には絶對に皆無である、夫故に之を平素の洗料としてゐれば、肌膚は何時も清潔に美しく整へられ、色澤は綺麗に、整容の補ひとなり、且つ白粉は自在に乘伸して、生彩を發揮せる艶美の化粧を施すことが出來るが、これは本品が左の優秀の特徴を有してゐるからである。

一、原料の嚴密なる精選は、脂肪に香料に苟も刺戟を感ずべき處あるものを用ひない。

一、本邦人の嗜好に適する溫雅な芳香がある。

一、適度の溶解性を備へて、能く水にも溶解し、而も浴室に用ひて半途に溶け崩れる虞がない。

一、本邦人の皮膚毛髮の洗滌に最好適である。

一、頗る實用的なる故に家庭經濟に叶ふ。

されば本品は如何なる家庭に於ても必要であるから、年始年玉の實用的御贈答用品として、最好適のもので、現代的御進物の意義に最も適するものである。

◎ミツワ石鹸 定價一個 金參拾錢

◎赤箱ミツワ石鹸 定價一個 金四拾錢

◎煉製ミツワ芳香石鹸 三個入 金四拾五錢

大形 中形 小形 極小形 水石鹸 金參拾錢 金貳拾參錢 金拾五錢 金七錢 金參拾五錢 金五拾錢 內地內外は紐税運賃を加ふ

ミツワ家庭藥 ◎ 肝油ドロップス

東京市日本橋區橫山町四丁目 丸見屋商店 振替東京七〇一〇番 電話浪花三〇八・四四九・四五〇番